

君津市社会教育活動振興事業補助金交付要綱の一部改正について

1 改正の趣旨

現在、周西南中学校区の地域住民等は、地域学校協働本部を組織し、地域と学校との協働により、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えるとともに、地域社会全体の教育力の向上、地域の活性化及び子どもたちが安心して暮らせる環境づくりを推進する「地域学校協働活動」を、学校運営協議会と連携して行っている。

市として、この「地域学校協働活動」が円滑かつ効果的に実施されるよう、また、他の学校区においても実施されるよう、予算の範囲内において補助金を交付するため、君津市社会教育活動振興事業補助金交付要綱（昭和 56 年君津市告示第 85 号）の一部を改正しようとするものである。

2 改正の内容

- (1) 補助の対象の事業に「地域学校協働活動事業」を加える。（別表）
- (2) 所要の規定の整理を行う。（第 11 条）

3 施行期日

公示の日から施行し、令和 5 年 4 月 1 日から適用する。

君津市社会教育活動振興事業補助金交付要綱新旧対照表

改正案		現 行	
(補則)			
第11条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、市長が別に定める。			
別表（第3条）		別表（第3条）	
種目	経費	種目	経費
(1) ～ (4) 省略	当該事業実施に直接必要な次に掲げる経費	(1) ～ (4) 省略	当該事業実施に直接必要な次に掲げる経費
(5) 地域学校協働活動事業（地域住民等により組織した団体が学校運営協議会と連携して行う地域学校協働活動の機会を提供する事業）	① 団体の役員等の相互研さんに要する経費		① 団体の役員等の相互研さんに要する経費
(6) 芸術、文化振興事業（芸術文化団体が行う市民文化の向上を目的とする事業）	② 団体相互間の連絡調整に要する経費	(5) 芸術、文化振興事業、（芸術文化団体が行う市民文化の向上を目的とする事業）	② 団体相互間の連絡調整に要する経費
(7) 社会体育振興事業（体育団体が行う市民体育の振興及び健康、体力の向上を目的とする事業）	③ 社会教育の普及、向上若しくは奨励を目的とする会議、大会、研究会、協議会及び研修会の開催又は参加に要する経費	(6) 社会体育振興事業（体育団体が行う市民体育の振興及び健康、体力の向上を目的とする事業）	③ 社会教育の普及、向上若しくは奨励を目的とする会議、大会、研究会、協議会及び研修会の開催又は参加に要する経費
(8) 社会教育活動振興事業（社会教育の振興に関する調査、研究又は普及のための事業）	④ 機関紙の発行又は資料の作成等社会教育に関する宣伝、啓発に要する経費	(7) 社会教育活動振興事業（社会教育の振興に関する調査、研究又は普及のための事業）	④ 機関紙の発行又は資料の作成等社会教育に関する宣伝、啓発に要する経費
	⑤ 社会教育に関する調査研究に要する経費		⑤ 社会教育に関する調査研究に要する経費
	⑥ その他社会教育の振興又は奨励に必要と認められる事業に要する経費		⑥ その他社会教育の振興又は奨励に必要と認められる事業に要する経費

令和5年度 社会教育活動振興事業補助金交付予定内訳書

(単位:人・円)

No	団 体 名	代表者名	構成人員	交付予定額 下段:昨年度	補助金対象経費 下段:総事業予算	種 目	主 な 内 訳
1	周西南中学校区地域学校協働本部	岡 野 祐	10	200,000 0	200,000 336,418	地域学校協働活動事業	・学校支援活動の実施 ・地域交流事業の実施 ・広報誌の発行
計				200,000			

社会教育活動振興事業実施計画書

団 体 名 : 周西南中学校区地域学校協働本部												
予 算				事 業 計 画			業 計					
収 入		支 出		事業番号	事業名	目的・内容・予想される効果	開催期間	回数	対 象	参 加 人 員 等	経 費	
科 目	金 額	科 目	金 額								金 額	内 訳
市補助金	200,000	事務費	40,000	1	事務費	本部の円滑な運営のための消耗品費、通信費					40,000	消耗品、通信費
PTA助成金	60,000	本部事業費	50,000	2	研修、講座	地域学校協働活動の活性化やコーディネート機能の充実に向けた研修会等を行う。	8月		本部役員 地域住民		50,000	研修、講座
雑収入	30,000			3	見守り活動	「地域でちよつと見守り隊」活動の普及・推進を図る。	年間		地域住民			見守り活動
		学校支援事業費	90,000	4	校内環境整備	校内の除草、草木の選定・伐採、花壇整備、草種関係等を行う。	都度		地域住民		90,000	校内環境整備
				5	学校支援費	学習支援、校外学習引率補助等を行う。	都度		地域住民			
				6	「保護者の声を聞く」活動	保護者の声を地域学校協働活動に反映させるための交流活動を行う。	各学期	3	小中学生の保護者		80,000	地域交流事業
		地域交流事業費	80,000	7	コミスクの周知と地域協力者の募集	小中学生の保護者や公民館利用者が集う機会にコミュニティ・スクールについて周知し、地域協力者を募る。	10月	1	小中学生の保護者、公民館利用者			
				8	「地域の声発」の活動	地域住民のアイデアを元に、コミュニティ・スクールの輪を広げる活動を行う。	随時		地域住民			
				9	子どもの居場所づくり	子どもの長期休暇中に気軽に集える場所づくりを行う。	夏季・冬季休暇		小中学生			
				10	子どもの活躍の場づくり	子どもが企画、運営の主体となる機会を設け、子どもの活躍の場づくりをする。	調整中		小中学生			
		広報	50,000	11	コミ・スクだより	コミュニティ・スクールの活動内容を地域住民や保護者に周知する。	年4回	4			50,000	広報発行
繰越金	46,418	予備費	26,418								26,418	予備費
												(補助対象経費) 本部事業費2,3 学校支援事業費4,5 地域交流事業費6～10 広報費11
計	336,418	計	336,418						計		336,418	計

公民館等再整備に向けたアンケート調査について

1 調査計画の検討

現在の公民館等の利用状況や、再整備後の公民館・拠点施設に対するニーズなどを把握するために市民アンケート調査を実施する。

幅広い年代層からのニーズを把握すること、より多くの回答を得ることをねらいとし、ターゲット（調査対象）に応じて複数の調査方法を組み合わせた。

【表 アンケート調査の実施方法】

ねらい	地区住民のニーズを広く把握		・公民館利用者のニーズを把握
	↓	↓	↓
	調査方法① 郵送調査	調査方法② WEB 調査	調査方法③ 留置 WEB 調査
調査対象	・地区住民（15 歳以上） ・無作為抽出	・地区内の主要公共施設等 利用者	・公民館来館者
調査票 の配布 方法等	・郵送 ・各地区 1,000 通※ （計 3,000 通）配布	・QRコード付ポスターの 掲示	・公民館に QR コード 付ポスターの掲示お よびチラシの設置
回答・ 回収	・紙（返信用封筒での郵送） ／Web 回答	・Web 回答	・Web 回答

※必要発送部数は必要サンプル数約 360 票に予想回収率（過年度実績より 35%とした）を乗じて算出

2 回答率等

周南公民館：247 票（回答率 24.7%）（郵送回答：158、インターネット回答：89）

小櫃公民館：335 票（回答率 33.5%）（郵送回答：272、インターネット回答：63）

小糸公民館：254 票（回答率 25.4%）（郵送回答：175、インターネット回答：79）

3 アンケート結果について

- ・各地区公民館等再整備に向けたアンケート調査集計結果（一部抜粋）参照

君津市公民館等再整備計画策定に係る第1回ワークショップ実施結果

1 日程及び参加人数

- (1) 周南公民館 6月19日(月) 参加人数 14名
 (2) 小櫃公民館 6月20日(火) 参加人数 16名
 (3) 小糸公民館 6月21日(水) 参加人数 18名

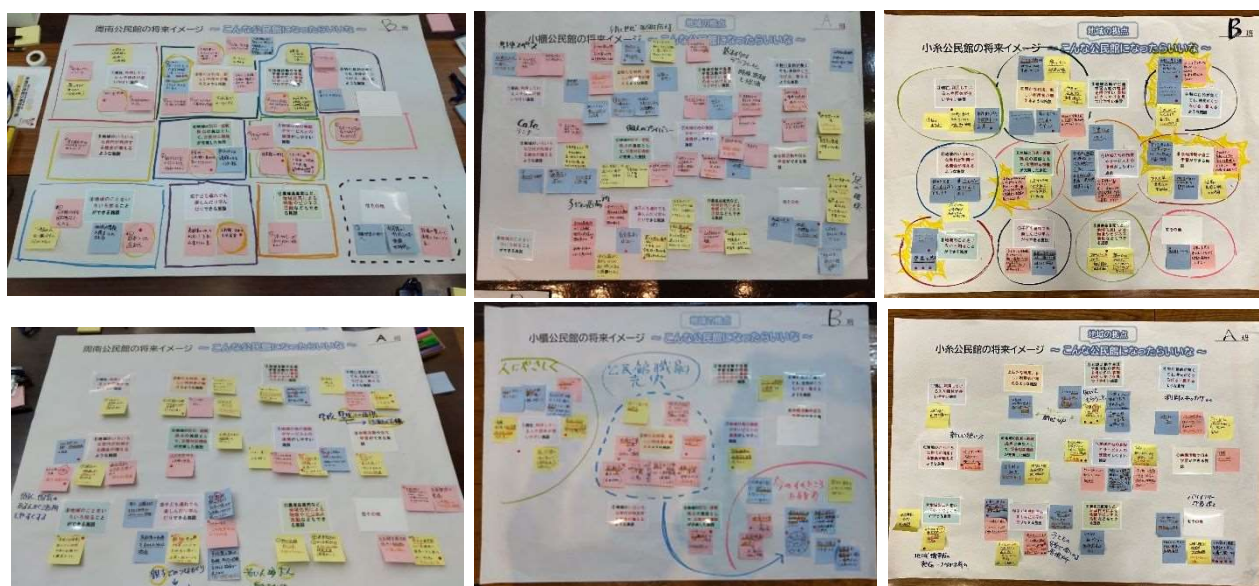
2 ワークショップ実施方法

各地区とも参加者を5、6人程度の3グループに分け、以下の12個のキーワードをもとに導入してほしい機能などについて付箋紙を使用し、意見をまとめて発表していただいた。

【施設のあり方キーワードのイメージ】

①現在、利用している人や団体が使いやすい施設	②新たな利用、新しい利用者が増えるような施設	③地域活動や生涯学習活動の情報を得やすい、参加のきっかけを見つけやすい施設	④特に目的が無くても、住民がくつろげる・集えるような施設
⑤地域のいろいろな世代が利用する機会が増えるような施設	⑥地域の防災・避難拠点の施設として、災害対応機能が充実した施設	⑦地域の他の施設やサービスとの連携がしやすい施設 (具体的に：)	⑧余暇活動や自主学習ができる施設
⑨地域のことをいろいろ知ることができる施設	⑩子ども連れでも楽しんだり学んだりできる施設	⑪農産物直売など、地域住民による物販やビジネス活動などでもできる施設	⑫その他 (具体的に：)

3 ワークショップイメージ



周南地区公民館等再整備に向けたアンケート調査
集計結果（一部抜粋）

Ⅱ. 調査結果

今後の地区の公共施設について

問1 あなたは、現在、地区の公共施設をどのくらい利用していますか。

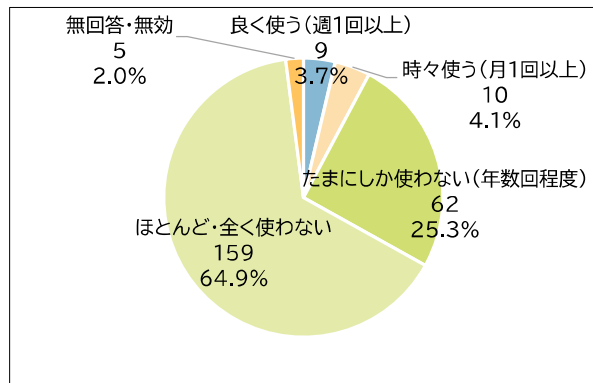
また、「3. たまにしか使わない」「4. ほとんど・全く使わない」と回答された方は、その理由を教えてください。

(1) 公民館

① 利用頻度

「ほとんど・全く使わない」が最も多く64.9%、次いで「たまにしか使わない（年数回程度）」が25.3%となっている

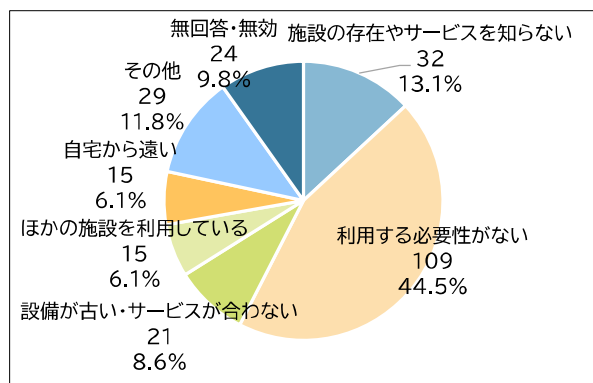
	回答数	割合
良く使う (週1回以上)	9	3.7%
時々使う (月1回以上)	10	4.1%
たまにしか使わない (年数回程度)	62	25.3%
ほとんど・全く使わない	159	64.9%
無回答・無効	5	2.0%
計	245	100.0%



② 使わない理由

「利用する必要がない」が最も多く44.5%、次いで「施設の存在やサービスを知らない」が13.1%となっている

	回答数	割合
施設の存在やサービスを知らない	32	13.1%
利用する必要がない	109	44.5%
設備が古い・サービスが合わない	21	8.6%
ほかの施設を利用している	15	6.1%
自宅から遠い	15	6.1%
その他	29	11.8%
無回答・無効	24	9.8%
計	245	100.0%



【(1)②その他回答】

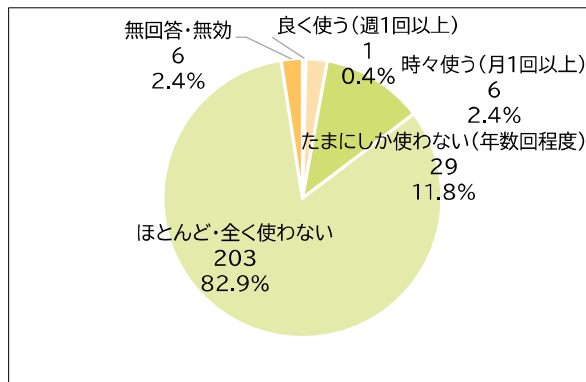
- | | |
|---------------------|----------------|
| ・ 予約がとれない | ・ 高齢のため |
| ・ 興味のある講座、サークルが無い | ・ 行事が少ないため |
| ・ 忙しくて時間が合わない | ・ 一人で行くことができない |
| ・ 公民館までの足がなくなってしまった | ・ 病気になったため |
| ・ タイミングが合わない | ・ 歩行が困難なため |
| ・ 利用の仕方がわからない | ・ コロナのため |

(2)図書室(図書の貸出・返却)

①利用頻度

「ほとんど・全く使わない」が最も多く82.9%、次いで「たまにしか使わない（年数回程度）」が11.8%となっている

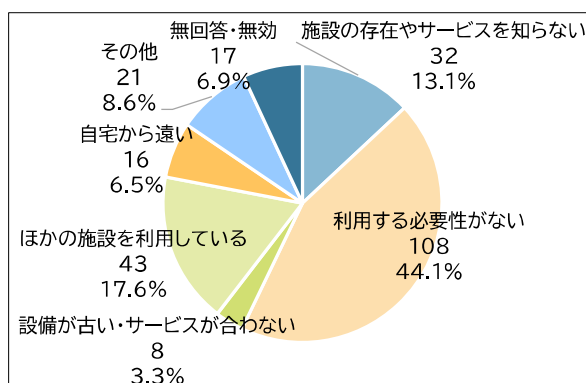
	回答数	割合
良く使う (週1回以上)	1	0.4%
時々使う (月1回以上)	6	2.4%
たまにしか使わない (年数回程度)	29	11.8%
ほとんど・全く使わない	203	82.9%
無回答・無効	6	2.4%
計	245	100.0%



②使わない理由

「利用する必要性がない」が最も多く44.1%、次いで「ほかの施設を利用している」が17.6%となっている

	回答数	割合
施設の利用やサービスを知らない	32	13.1%
利用する必要性がない	108	44.1%
設備が古い・サービスが合わない	8	3.3%
ほかの施設を利用している	43	17.6%
自宅から遠い	16	6.5%
その他	21	8.6%
無回答・無効	17	6.9%
計	245	100.0%



【(2)②その他回答】

- | | |
|---------------------|-------------------|
| ・ 興味ある蔵書が少ない | ・ 高齢のため |
| ・ 本を読まないため | ・ 一人で行くことができない |
| ・ 忙しく行く時間が取れない | ・ 病気になった |
| ・ 公民館までの足がなくなってしまった | ・ 目が悪いためあまり本を読まない |
| ・ 暗いイメージで入りづらい | ・ 図書は自分でそろえる |
| ・ 子どもが大きくなったため | |

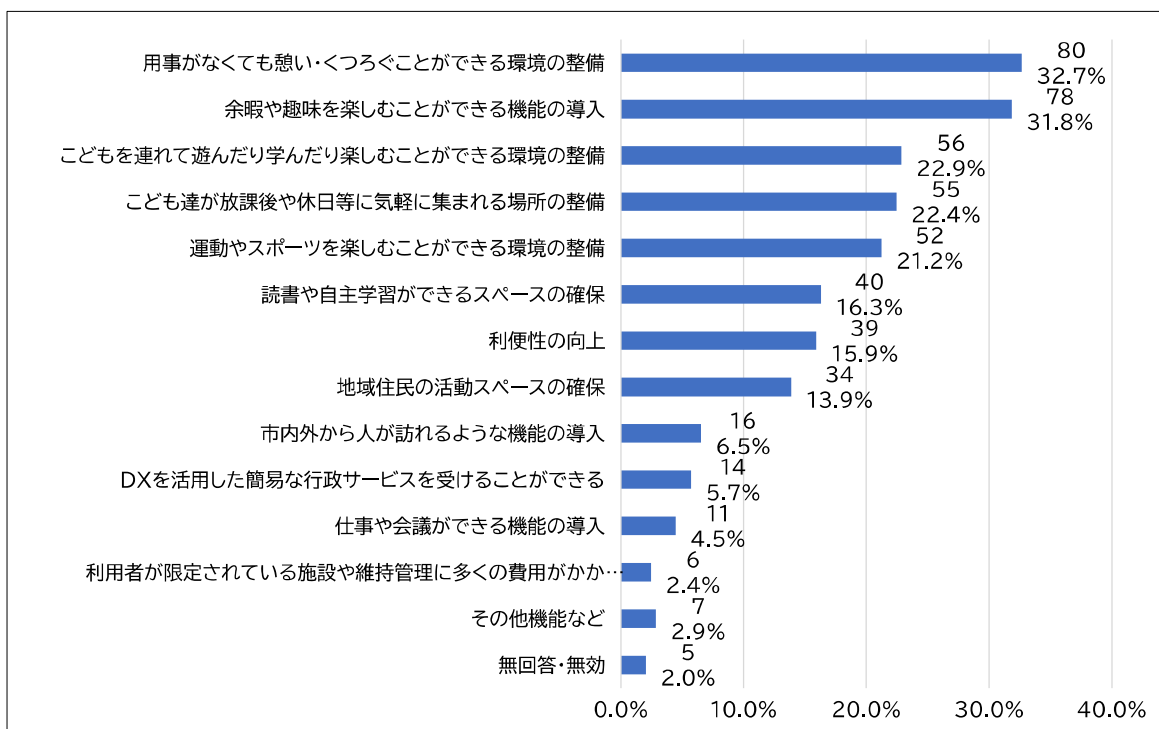
問3 新たな周南公民館に期待することは何ですか。(〇は2つまで)

「用事がなくても憩い・くつろぐことができる環境の整備」が最も多く 32.7%、次いで「余暇や趣味を楽しむことができる機能の導入」が 31.8%となっている

	回答数	割合
用事がなくても憩い・くつろぐことができる環境の整備	80	32.7%
余暇や趣味を楽しむことができる機能の導入	78	31.8%
子どもを連れて遊んだり学んだり楽しむことができる環境の整備	56	22.9%
子ども達が放課後や休日等に気軽に集まれる場所の整備	55	22.4%
運動やスポーツを楽しむことができる環境の整備	52	21.2%
読書や自主学習ができるスペースの確保	40	16.3%
利便性の向上	39	15.9%
地域住民の活動スペースの確保	34	13.9%
市内外から人が訪れるような機能の導入	16	6.5%
DXを活用した簡易な行政サービスを受けることができる	14	5.7%
仕事や会議ができる機能の導入	11	4.5%
利用者が限定されている施設や維持管理に多くの費用がかかる機能の見直し	6	2.4%
その他機能など	7	2.9%
無回答・無効	5	2.0%

【その他機能の内容】

- ・ 地域のつながりのハブとなること
- ・ 震災時に安心して避難できる場所
- ・ 書、絵画、写真、短歌等の作品の発表、展示ができる部屋（キャプションレールの設置）が望ましい
- ・ パソコンやスマホの教育、時代に乗り遅れないための教室づくり
- ・ 高齢者優遇のイベント
- ・ 公民館の目的が分からない



問4 新たな周南公民館に、求めるイメージやアイデアなどがあれば自由にご記入ください。

年齢	意見
10 歳代	市のお金が使用されているのなら、公民館を使用しないのでいいと思う。地元の人は知り合いがいるので情報があって公民館を使用するのかもしれないが、よくわからない人は公民館の事も分からないので使用しない。新しい人は入りづらい。知人とかいけばよいが、いない人はいけない。
10 歳代	施設を綺麗にする(トイレなど)
10 歳代	周南公民館自体のホームページを作り、そこから予約できるようにしてほしい。
10 歳代	情報を伝える
20 歳代	もう少し雰囲気の明るい憩いの場
20 歳代	運動ができる場
20 歳代	近所に保育園小学校があり放課後に遊べる子どもの遊べるスペース(支援センター等)がほしい
20 歳代	四季折々の植物を楽しめて、訪れる野鳥を観察できたり、自然体験のイベントや工作などで子供からお年寄りまで楽しめる施設。地域の交流が深まる場所。
20 歳代	利用者が絶えないような空間になればと思います。 公民館に行くことによって地域のひととの交流が出来るようになることによって、より周南のことが好きになる人が増えるのではと思います。
30 歳代	あたたかい日差しにあたる森のロッジ
30 歳代	お年寄りが利用するイメージがついてしまっているので、新たに越してきたファミリー向けのイベントや利用施設を作ってもらいたいです。例えば、カフェ（のようなもの）設置、子供達が遊べる遊具やボードゲームを置く、子育てママさん達のストレスを緩和できる場所を作る、など。
30 歳代	何もなくとも誰もが気軽に立ち寄れるところ
30 歳代	子どもの遊び場があると連れて行きやすい。また、赤ちゃんや小さな子どもが行っても、トイレやオムツ交換などの不自由がないこと。
30 歳代	子供達が遊べる場所
30 歳代	私が小学生の頃は毎日通っているくらい言っていました。本を読んだり、2 階の和室みたいな所でかるたをしたり。今の子は使えるのを知らないか、使用がダメなのか分からないが、行ってるイメージがありません。自分の子も行かず…。なので地域交流はもちろんだが、子供が遊べる、学べる場となるようなところでもあってほしい。公園も制限ばかりで今となっては子供が遊べる場が少ないのもある。
30 歳代	周りが木々に囲まれているため、街灯を増やし明るいイメージを作ること
30 歳代	小学生や中学生が帰りに寄れるようなところを作ってほしい。交通の便が良く、いつでも行きやすい場所がいいと思う。新しく作るのであれば、今までやっていないことを期待したい。
30 歳代	人が集まりやすくしてほしい。でも、混み合わないような工夫、賑わっていても不快に感じない空間造りを期待。
30 歳代	地域の人たちが行きたくなる交流の場。子供連れで行って遊ぶスペース、おもちゃなどがある。
30 歳代	防災の拠点になってほしいです。
40 歳代	・子どもたちに『行けば、なにか面白いことがありそう！』と思わせるような環境作り。（君津亀山青少年自然の家のような…） ・現状の公民館は少し陰鬱とした印象があります（湿っぽい、暗い…など） 子どもが幼い頃は『こわい』と話すこともありましたが。 開放的な明るい施設であると良いと思います。
40 歳代	スポーツ施設希望（テニスコート等）
40 歳代	どの場所も使いやすく広くして欲しい

年齢	意見
40 歳代	圧迫感のない開放的な建物になると何もなくても行きたくなるように感じます。また飲食（軽食）でもできるカフェや学校の保健室のような（健康のことなど相談できるような）所になると良いと感じます。
40 歳代	屋内外にスポーツを楽しめるホール、コート（バスケットゴール）があると、老若男女問わず利用でき、楽しめると思います。
40 歳代	気軽に利用できるテニスコート等、スポーツができる環境。災害対応機能を充実。
40 歳代	個人的に手作りで作っている物を置かせていただけるスペースがあれば嬉しいです。
40 歳代	災害に強く地域のためになる公民館
40 歳代	子どもが遊べるボードゲーム
40 歳代	子育て支援センターのような設備があるといいと思います
40 歳代	室内体育館、学校の半分くらいの大きさ
40 歳代	周南のゆるキャラをつくる。VR を作りきみびょん、上記のゆるキャラと遊べる。
40 歳代	小糸公民館の様にテニスコートが設備に有ると助かります。
40 歳代	図書館や公園などを作って利用できるようにして欲しい、土日などにファーマーズマーケットやマルシェなどをやったり、室内で支援センターなどがあると小さいお子さんをお持ちのママたちが集まれる交流の場所になるといいなと思います！ 高齢者のかた達とも遊べる様なスペース(昔遊びなど)もあるといいですね！
40 歳代	図書室を利用することが主ですので、自然を生かし緑を見ながらお茶を楽しみながら、おしゃれな図書室があったら素敵だと思います。
40 歳代	全体的にもう少し明るい建物だといいなと思う。 トイレももう少しキレイで明るいといいなと思う
40 歳代	耐震性、雨漏り無し
40 歳代	誰でも利用できるようハードルを下げる、子供向けの教室みたいなものなどいいと思う
40 歳代	地域の交流の拠点となるような場所
40 歳代	八重原公民館のようにいくつかのスペースがあり、色々な活動で使えるような施設にしてほしい。習い事などができるスペース
50 歳代	①地域の中心にあって明るく開放的なもの②図書室も暗く目立たない。貸出だけでなく読んだり調べ物をまとめられるコーナーなどがあれば良いのでは。③小学生、中学生など地区の将来を担う世代が多く利用できるように施設であってほしい。④今は段差があるのでバリアフリーにしてほしい。⑤災害時の避難場所としての機能の充実。
50 歳代	ピアノ等のコンサートへの参加（自由に誰でも参加できる）、音楽関係のコンサートが開催されると良い。
50 歳代	ふらっと公民館にすれば、いつも誰かがいて、お茶を飲みながらおしゃべりなどを楽しめるような「茶の間」のような場所。
50 歳代	屋内でできるスポーツ施設の併設を希望。
50 歳代	基本的にバリアフリーにして無駄な吹き抜けなど設けずに機能重視な建物にする
50 歳代	気軽に行けるカフェや食堂があればいいと思う。
50 歳代	気軽に訪れて、地域住民とコミュニケーションが取れる場所。色々な事柄が学べる場所。周南地区には、カフェが無いので、可能ならば施設内にカフェが併設されるともっと人が集まりやすくなる？カフェの運用も障害のある方達の働く場として機能できないでしょうか？
50 歳代	喫茶室や何か美味しいランチやスイーツのお店に入ってもらう。
50 歳代	建物の外観を派手(おしゃれ)にする必要はないので、中身に機能的で使いやすい設備投資をしてほしい。
50 歳代	前々問の記述回答同様
50 歳代	全体的に明るくしてもらいたいです
50 歳代	大空間と個のスペースの両立
50 歳代	地域の方が気軽に利用できる公民館

年齢	意見
50 歳代	明るい施設、使いやすいサービス、堅牢な避難場所
60 歳代	サークル活動等をしていなくても自分の作品を自由に展示できる場所。小学生や中学生の作品を展示（文化祭以外で）などをすれば、用事がなくても寄ってみようかと思ったり、自分の子供の作品を見に来る保護者の方々が集まるのでは。
60 歳代	暗いので、明るい造りにして下さい
60 歳代	高齢者や子どもの居場所となる空間にしてほしい。
60 歳代	今の公民館は入り口や中に入ってから的高低差がありすぎて使いづらいし、暗い感じがします。フラットで動線の良い建物が良いと思います。
60 歳代	施設の維持管理しやすい建物の建設。
60 歳代	室内スポーツを行う場所として機能的であること。床、壁面、格納庫。間仕切りができ、複数の活動が同時にできる小体育室的なスペース。小会議室を備え、団体会議の場として活用できる。他地区の情報を得やすいスペース（パンフ、I T）。
60 歳代	周囲に公園がある。本の種類が多い。小さなカフェがある。
60 歳代	常代、宮下地区には公的施設等があるが大山野地区は取り残されているように思われます。新公民館は大山野地区で、コミュニティバスの運行する道路わきで、存在感のある公民館の新築を望みます。
60 歳代	地域住民の憩いの場所として自由、気軽に利用できる施設
60 歳代	不要。公民館に求めるものはない。
70 歳以上	①段差のない通路②自然光が差し込むフロア③建物周辺に緑が④リスやモモンガが人を無視して往来する⑤地域の歴史・文化の紹介講演、市や学校の知識人の講演
70 歳以上	月 1 回くらいで年間にいろいろな活動。例えば学習会、スポーツ、料理、校外学習とか楽しめる会があったら参加したいと思う。
70 歳以上	個人か少数で使える場所の確保。静かな環境が保たれること。
70 歳以上	公民館の中にセブンイレブンがあったり床屋があったり、ラーメン屋さんがあったり生活の一部として利用したい。もちろん行政の一部ができる建物。
70 歳以上	公民館内に住民票等の自動販売（発行）機を設置してもらいたい。
70 歳以上	高齢化社会に対する取り組み。若者向けにも必要だが、地域を織り上げるためには閉じこもり高齢者をいかに引っ張り込むかでしょう。公民館活動の文化中心から個人介助に転換が必要かと思います。
70 歳以上	今までは限られた人々の使用、参加など感じられたので、地域問わず老若男女が足を運びたいような公民館が良いですね。いろいろな分野での 1 回限りの「お話し会」「講演」など増えるといいと思います。交通便も大切で、今の環境では通えない方が多いのではないかと思います。
70 歳以上	周南公民館に徒歩で行く時、歩道がなく道が狭く危険。夜は暗く危険。
70 歳以上	小ホールを作って催し物などしてもらいたい。
70 歳以上	世代間交流の企画ができれば
70 歳以上	地域住民同士の交流の機会となる場の提供（イベントの開催等）。地域住民の防災機能を担う拠点となる施設。
70 歳以上	木工や竹細工などができる工芸室が欲しい。
70 歳以上	料理教室（祭り寿司など地元の料理を覚えたい）
70 歳以上	老人は車がなくて公民館に行けないのですが、若い人が土日、子供を連れてでも、卓球やテニスができるようにできたらいいですね。

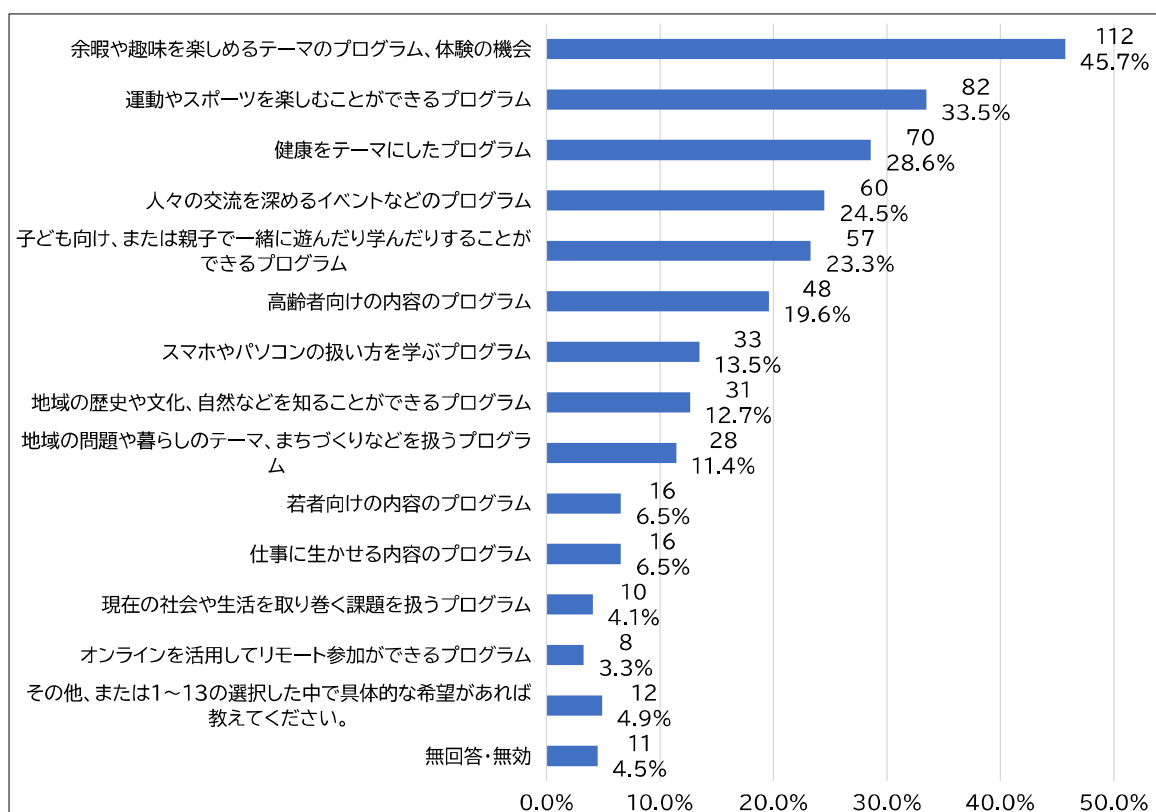
問8 新たな周南公民館でどのような取組みに力を入れたら、あなたは公民館をもっと利用したい
 と思いますか。(〇は特にそう思うもの3つまで)

「余暇や趣味を楽しめるテーマのプログラム、体験の機会」が最も多く45.7%、次いで「運動やスポーツを楽しむことができるプログラム」が33.5%となっている

	回答数	割合
余暇や趣味を楽しめるテーマのプログラム、体験の機会	112	45.7%
運動やスポーツを楽しむことができるプログラム	82	33.5%
健康をテーマにしたプログラム	70	28.6%
人々の交流を深めるイベントなどのプログラム	60	24.5%
子ども向け、または親子で一緒に遊んだり学んだりすることができるプログラム	57	23.3%
高齢者向けの内容のプログラム	48	19.6%
スマホやパソコンの扱い方を学ぶプログラム	33	13.5%
地域の歴史や文化、自然などを知ることができるプログラム	31	12.7%
地域の問題や暮らしのテーマ、まちづくりなどを扱うプログラム	28	11.4%
若者向けの内容のプログラム	16	6.5%
仕事に生かせる内容のプログラム	16	6.5%
現在の社会や生活を取り巻く課題を扱うプログラム	10	4.1%
オンラインを活用してリモート参加ができるプログラム	8	3.3%
その他、または1～13の選択した中で具体的な希望があれば教えてください。	12	4.9%
無回答・無効	11	4.5%

【その他、または具体的な希望】

- ・ エアロビクス、ヨガ講座
- ・ 解放的な空間
- ・ プログラミングや IT 講座
- ・ 子供を対象としたイベント、バスハイクなど
- ・ 子供がピアノを習っているので、ピアノに関わるイベントやプログラム
- ・ "公民館 50 周年記念の催し物で、先日竹灯籠作りに参加しました。浜子を守る会の方々もいて、子どもが高齢者とも触れ合える良い機会だなと感じたところです。周南地区で採ったヨモギを使ってヨモギパンを作る、その作り方を地元のお年寄りに教えてもらう…など、世代を越えた（高齢者を敬う気持ちを育てられるような）イベントなどがあると良いと思います（つまりは簡易的な料理ができる部屋があっても良いかも？と思います）"
- ・ ヨガや習字など習い事ができれば利用が増えると思う。
- ・ 地区の中で生産した野菜などの即売会
- ・ いない
- ・ 各地区のイベントを公民館で実施したら！
- ・ 全国を見て周南公民館しかできないことがあれば利用する。
- ・ 7について：大きな体育館 1 つではなく、複数個、小規模なトレーニングルームもあったら嬉しいです。ダンス練習をしたいので。
- ・ 利用しないので特にないです
- ・ （今の場所の前提で）自然環境を楽しむ、体験するプログラム スポット開催・連続開催とも
- ・ 貸農地、新名産、新農物の紹介、趣味の園芸、農業体験。
- ・ 実施されているサークル等の内容がよくわかる場所に明記、気楽に参加できるように明確に PR してはいいかが。
- ・ 高齢者重視の企画、閉じこもりの現出企画

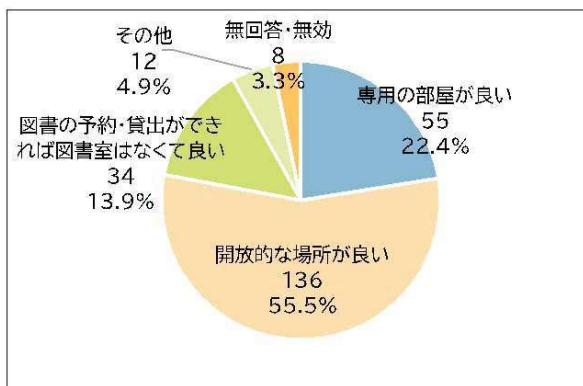


図書室について

問9 「新たな施設」での図書室について、どのように考えますか。(〇は1つ)

「開放的な場所が良い」が最も多く 55.5%、次いで「専用の部屋が良い」が 22.4%となっている

	回答数	割合
専用の部屋が良い	55	22.4%
開放的な場所が良い	136	55.5%
図書の予約・貸出ができれば図書室はなくて良い	34	13.9%
その他	12	4.9%
無回答・無効	8	3.3%
計	245	100.0%



【4.その他回答】

- ・ 借りた本を読みながら自習勉強ができたり、親子で絵本などを読むスペース
- ・ おしゃれで居心地が良く、清潔感があるもの
- ・ 専用の部屋の中に読んだり調べ物をまとめられるコーナーがある。
- ・ 貸し出しができ、自由に読むこと、学習等ができる場所
- ・ 不要。中央図書館で十分
- ・ 電子図書でよい

小櫃地区公民館等再整備に向けたアンケート調査結果
集計結果（一部抜粋）

Ⅱ. 調査結果

今後の地区の公共施設について

問1 あなたは、現在、地区の公共施設をどのくらい利用していますか。

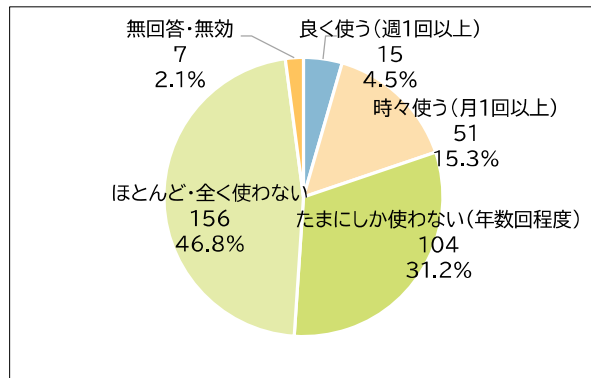
また、「3. たまにしか使わない」「4. ほとんど・全く使わない」と回答された方は、その理由を教えてください。

(1) 公民館

① 利用頻度

「ほとんど・全く使わない」が46.8%と最も多く、次いで「たまにしか使わない（年数回程度）」が31.2%となっている。

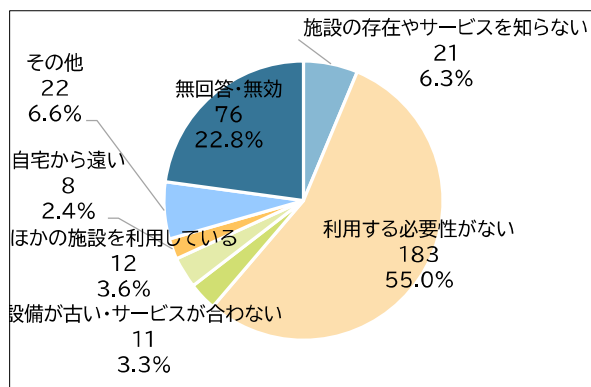
	回答数	割合
良く使う (週1回以上)	15	4.5%
時々使う (月1回以上)	51	15.3%
たまにしか使わない (年数回程度)	104	31.2%
ほとんど・全く使わない	156	46.8%
無回答・無効	7	2.1%
計	333	100.0%



② 使わない理由

「利用する必要性がない」が最も多く55.0%となっている。

	回答数	割合
施設の利用やサービスを知らない	21	6.3%
利用する必要性がない	183	55.0%
設備が古い・サービスが合わない	11	3.3%
ほかの施設を利用している	12	3.6%
自宅から遠い	8	2.4%
その他	22	6.6%
無回答・無効	76	22.8%
計	333	100.0%



【(1)②その他回答】

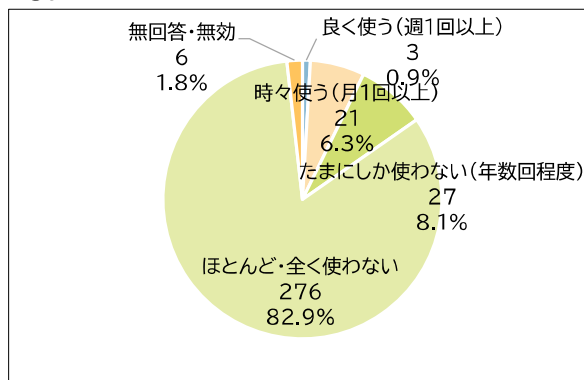
- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事で自宅にいないから ・ 利用する機会がない ・ 平日仕事のため ・ 高齢のため ・ 税金関係、医療還付の時のみ利用 ・ 集団検診、確定申告等 ・ 病弱のため ・ 足が悪くて ・ 出不精 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 自宅でやらなければいけないことに追われている ・ 毎日フルタイムで働いていて土日も仕事がある ・ コロナ禍で会議での使用が減ったため。 ・ もう年寄りです歩いて行けない ・ 自治会行事、健診等 ・ 余裕がない ・ 時間が合わない |
|--|--|

(2)図書室(図書の貸出・返却)

①利用頻度

「ほとんど・全く使わない」が最も多く 82.9%となっている。

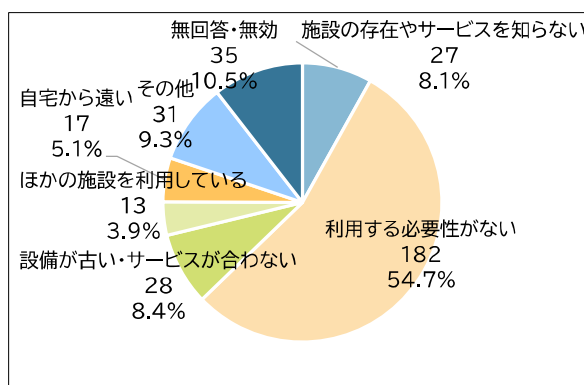
	回答数	割合
良く使う (週 1 回以上)	3	0.9%
時々使う (月 1 回以上)	21	6.3%
たまにしか使わない (年数回程度)	27	8.1%
ほとんど・全く使わない	276	82.9%
無回答・無効	6	1.8%
計	333	100.0%



②使わない理由

「利用する必要性がない」が最も多く 54.7%となっている。

	回答数	割合
施設の利用やサービスを知らない	27	8.1%
利用する必要性がない	182	54.7%
設備が古い・サービスが合わない	28	8.4%
ほかの施設を利用している	13	3.9%
自宅から遠い	17	5.1%
その他	31	9.3%
無回答・無効	35	10.5%
計	333	100.0%



【(2)②その他回答】

・ 仕事で自宅地元にいないから	・ 好みに合った本がない
・ デジタル書籍で閲覧可能だから	・ 欲しい本は購入するので
・ 特に借りたい本がないので	・ 出不精
・ 子どもは「ひまわり号」で借りている。私は、子どもがまだ小さいので、自分の本を借りて読む余裕がない	・ 毎日フルタイムで働いていて、土日仕事があるため。
・ 平日仕事	・ 私自身は使わないが子供はよく利用している。
・ 読みたい本は書店で買う	・ 足りない
・ 目が弱くなってきている	・ 本を読む時間があまりない
・ 図書の貸出・返却のみにつき	・ 本を読むことがなくなった
・ 認知症のため	・ 利用するタイミングが合わない。
・ 年のせいで文字を読むことがつらい	・ 時間が合わない
・ 貸し借りが面倒	・ 本など読まないため
・ 時間の余裕がない	・ 目が悪く本は読まない。

問2 「新たな施設」には、地区の公共施設の機能を複合化または集約化することを検討しています
が、「新たな施設」に期待することは何ですか。(〇は2つまで)

「用事がなくても憩い・くつろぐことができる環境の整備」が 32.1%と最も多く、次いで「利便性の向上」が 29.1%となっている。

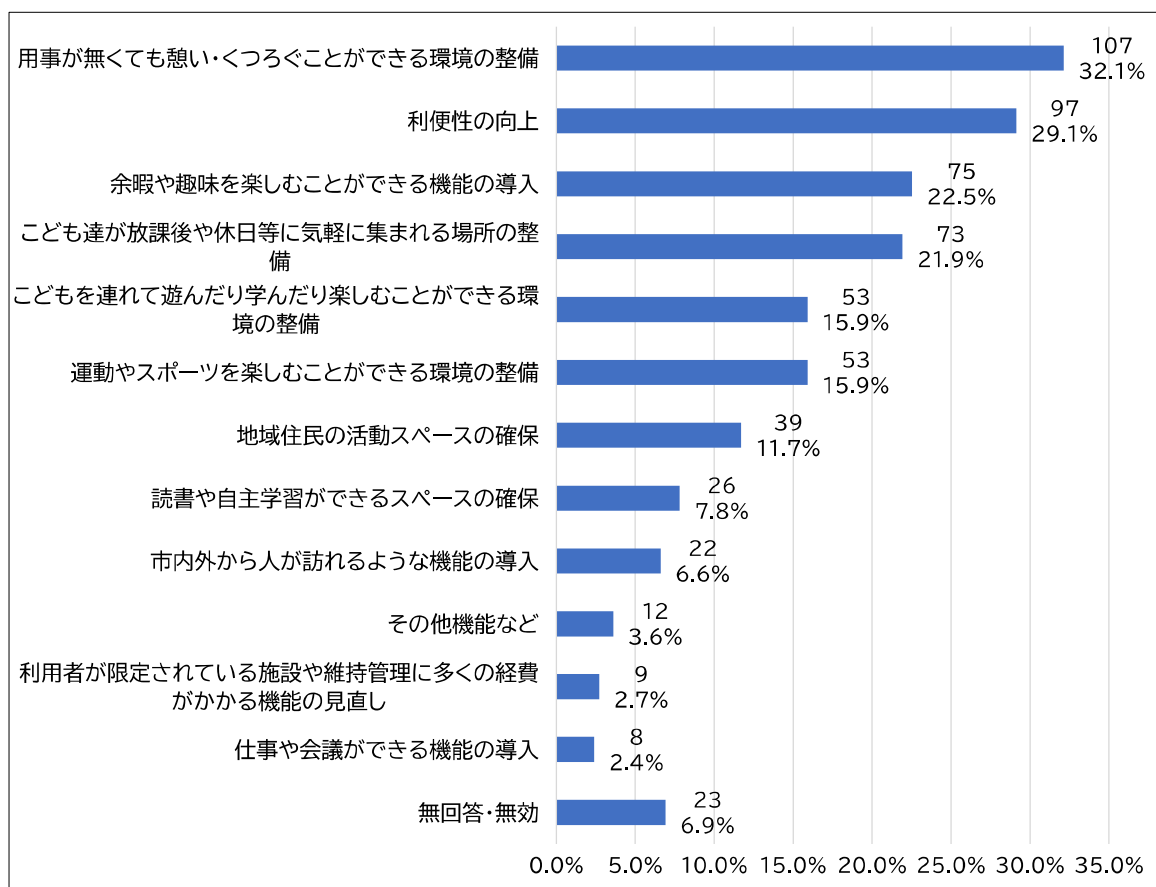
	回答数	割合
用事が無くても憩い・くつろぐことができる環境の整備	107	32.1%
利便性の向上	97	29.1%
余暇や趣味を楽しむことができる機能の導入	75	22.5%
子ども達が放課後や休日等に気軽に集まれる場所の整備	73	21.9%
子どもを連れて遊んだり学んだり楽しむことができる環境の整備	53	15.9%
運動やスポーツを楽しむことができる環境の整備	53	15.9%
地域住民の活動スペースの確保	39	11.7%
読書や自主学習ができるスペースの確保	26	7.8%
市内外から人が訪れるような機能の導入	22	6.6%
その他機能など	12	3.6%
利用者が限定されている施設や維持管理に多くの経費がかかる機能の見直し	9	2.7%
仕事や会議ができる機能の導入	8	2.4%
無回答・無効	23	6.9%

【「利用者が限定されている施設や維持管理に多くの経費がかかる機能の見直し」の具体的な内容】

- ・ 地域住民の年齢構成を考えた場合、集約化により、移動の労力が減ることはよいと思います。費用がかかることですが、医療機関の少ない地域ですので、診療所の設備の更新して同時に行政手続きもできるとより便利になると思います。
- ・ 入浴施設は廃棄すべきです。
- ・ 用事が無くても憩い・くつろぐことができるイメージ

【「その他機能など」の内容】

- ・ 上記に付随する設備として、複数のサービスを利用する間の待ち時間を埋める目的で、飲食ができるスペースがあればよいと思います。テナントなどに入っていただき賃料を備品や設備修繕費の一部に充てられるとよりよいのですが…
- ・ 図書室があるにはあるが、倉庫のようで 非常に使いにくい。
- ・ 探しにくい取りにくい。変化が無い。使われないのも致し方ないのかもとリクエストカードをお願いしながら思う。ただあれば良いのではなく、狭いならそれなりに入れ替えるなど工夫して欲しい。
- ・ 今ある公共的な施設も含め集約した複合施設を作ること、一箇所で用事を済ませられるような場所にしてほしいです。
- ・ それには、行政センターや公民館、図書室、相談機関、地区社協、診療所、市民の活動場所など
- ・ 特に診療所は、高齢になって透析などの措置が必要になったときに交通手段を考えなくてもいいような施設になってくれたら嬉しいです。
- ・ トイレの設備の改善
- ・ 空調（冷暖房）や明るさなど質の高い施設、技術に高い医師の確保など
- ・ 車イスの昇降場に屋根が欲しい
- ・ 行政センター
- ・ バリアフリー
- ・ 複合化、集約化は良いと思います。何をというのとは分かりません。
- ・ 文化ホールのなもの
- ・ 緊急時の避難所やドクターヘリ着場、医療の拠点、情報集約拠点。



問3 「新たな施設」に、求めるイメージやアイデアなどがあれば自由にご記入ください。

年齢	意見
10 歳代	スポーツとか
10 歳代	人が気軽に集まれる場所
20 歳代	ストレッチできるような場所
20 歳代	運動が出来るスペース、ジムなど雨の日でも運動が出来る場所が欲しい
20 歳代	子どもの遊べる公園の設置（小櫃に遊べる公園がないため）。お年寄り等の集会所（コミュニティバスを用意し、誰でも着やすい環境づくり）。
30 歳代	40～50 人で集まれて、子供たちや親と一緒にイベント、カラオケ等できればなと思う。（BBQ、クリスマスパーティー、ハロウィン等）
30 歳代	バリアフリー化、障がい者が利用しやすいようにしてほしい。
30 歳代	各スペースが広く、分かりやすく仕切られている。窓が多く、室内でも明るく温かいイメージが良い。屋外スペースには芝があり、子供は裸足でも遊べる。プールも欲しい！（子供のプールも）
30 歳代	公園が近くにないので子どもが遊ぶ場所がほしい。天気の良い日は特に遊ぶ場所がないので室内で遊べる場所がほしい。
30 歳代	公園や雨の日でも子供が遊べるスペース
30 歳代	子どもたちが自由に遊びを楽しめるような施設。
30 歳代	子どもの集まれる場所、公園、広場、遊具を置いてほしい。滑り台、ブランコ等
30 歳代	子供や老人たちも楽しめる運動施設、公園整備
30 歳代	市民のサークル活動場所や図書館と自習スペースの充実と行政センターの役割はそのまま残し、公園的な子供や家族がくつろげるスペースがあると良い。休日にはフリーマーケットやキッチンカーなどが集まるような場所。トイレと駐車場の整備は大事。市外の人から見ても魅力的で、「ちょっと寄ってみよう」と思えるオシャレな施設。
30 歳代	上記にあるように地域の方たちや子供たちが集まれる場所になると、子を持つ親として非常に嬉しいです。
30 歳代	利用をポイント化し、地域の商工会等で使用できるようにする。最近の流行しているポイ活を導入
40 歳代	・バスケットボールやサッカーなど運動が手軽に練習できる設備。 ・受験生が勉強しやすい自習室 ・災害時に誰でも使用しやすい、バリアフリーの避難所
40 歳代	スポーツができる施設
40 歳代	スポーツジム
40 歳代	バリアフリー、八重原公民館みたいな感じ
40 歳代	より良い施設を作るためにはコンセプトが必要である。小櫃地区を活性化させるためには、地域内外から人が集まる必要があるため、コンセプトは人が集う複合センターになる。公民館、図書室、行政センター、診療所、物産館等が入る複合施設が望ましい。
40 歳代	気軽に行って集まれる場所 カフェ的な感じ
40 歳代	公民館に作ってほしいです。①花がたくさん咲いている公園。遊具の色もカラフルで明るい。②事務所などから子供たちが遊んでいる姿が見える。
40 歳代	子ども達が気軽に立ち寄れて遊べる施設。児童館のようにして、乳児～小中学生が集まれるスペース。図書室をもっときれいに充実してほしい。
40 歳代	子ども同士で集まれて遊べて勉強できる空間があるといいと思います。
40 歳代	住民が来やすい、または行きたくなる楽しめる所になってほしい。
40 歳代	小中学生が利用しやすい雰囲気
40 歳代	小櫃公民館のある場所は立地的によい場所である。防災面（水害）、高速（圏央道）に近い→東京、横浜、成田方面、通勤圏内に入る。上総、小櫃の防災（災害時の拠点）として良い、平らで見渡せる。
40 歳代	小櫃地区の子ども達の遊び場として唯一安心して利用できるのが公民館です。公園もなく、放課後みんなで楽しく過ごす場がなくいつも困っています。新しい施設に求める事は、地域の

年齢	意見
	子ども達から大人までが施設の中をより充実し、楽しく且つ利便性を考えた場になってほしいと思います。 例えば『学ぶ場』として、図書室・勉強スペースの確保『遊び場』として、講堂や中庭の整備（遊具や多目的な場 BBQ）『集いの場』として情報の発信、場所の確保。本来の公民館の姿 + 楽しい要素を取り入れて欲しいです。 また医療機関や行政センターが 1 つの場所にあると便利かもしれませんが、医療機関は単独が良いと思います。
40 歳代	設備が古いどうしても足が遠のきます。清潔感・明るさのある所ならもっと確実に利用します。
40 歳代	体育館や多目的ホールなどでスポーツサイクルなどで利用できればうれしいです。近所の仲間が集まり、お茶でもできる部屋など。
40 歳代	地区の人が気軽に行ける
40 歳代	漠然としたイメージしかわからないが、時間のある時にふらっと寄ってみたいくなる場所だと良いな
50 歳代	カフェを併設した図書館
50 歳代	コンクリートむき出しではなく、木材を活かしたデザインが好ましい（流行ですが）。
50 歳代	ドッグランとかがあったら嬉しいです。
50 歳代	のんびりと癒される
50 歳代	モダンな感じで出来れば売店などがあると良いですね。
50 歳代	温水プール、入浴施設、マッサージチェア
50 歳代	学童など子供のための施設
50 歳代	気軽に行けるような明るいイメージ
50 歳代	住民が交流したり寛げるスペースがあり、一人でも気軽に行ってみたいと思える場所 子どもや高齢者が集える場所
50 歳代	住民向けの常設のサロンのような場所 子供たちが放課後集まれるスペース→子育て世代の親が気軽集える場所
50 歳代	小さい子どもを連れていても安心して遊ばせることができる環境。明るくて暖かみのある感じが良いと思います。行政センターの機能がもっと、拡大してほしい。
50 歳代	小櫃、上総区の医療や避難所、交通の中心（インターも駅も近い、車も電車も歩きも来られる）。小中高生の集える安全な場所、自習室や図書館がある。習い事や体を動かすこともできる。
50 歳代	大規模でなくても一か所で用事が済ませることができる施設、またデマンドタクシーの発着場などを確保してアクセスしやすい場所にしていただけるとよいかと思います。
50 歳代	駐車場が広い
50 歳代	放課後子供達が安心して遊び学べる場所の提供
50 歳代	防災のための避難所として頑丈な建物を希望します。今はガラス張りなので危険を感じ、雨漏りも心配。
50 歳代	魅力的な施設がなく子育て世代には市街に出てしまう。広い公園とかあれば良い（老若男女が気軽に行ける）。
50 歳代	明るく開放的な移設
50 歳代	明るく開放的な施設。今までの公民館（余暇、趣味、運動、スポーツ等）を楽しめ、憩い、くつろげることのできる施設。私自身介護福祉士として働いていたこともあり、介護相談等が気軽にできる場所としても良いかと。
60 歳代	スポーツ施設の充実
60 歳代	テニスコートが欲しい
60 歳代	バリアフリー
60 歳代	気軽に立ち寄ることができたらよい
60 歳代	喫茶室（店）がある。
60 歳代	近所に公園も全くなく、子供たちが集まって遊べる場所がないので、袖ヶ浦公園のような施設が良い。
60 歳代	空調（冷暖房）や明るさなど質の高い施設、技術に高い医師の確保など
60 歳代	公民館を利用して昼間は誰もが集まれる場所作り、食堂やカフェを週一位開けたら。

年齢	意見
	無料ではなく働いた人に支払って。夕方からは子供達の居場所になる。送り迎えもして安全に。
60 歳代	行政センターや診療所へ来院した際にほっとしてなごめる場所。カフェ等
60 歳代	災害時に対応できるように。人々が集まってくるような場所。
60 歳代	産地の食材を生かしたごはん、おやつが食べられる
60 歳代	子供から老人までが集い余暇を楽しめる場所
60 歳代	小櫃駅公民館側口の新設
60 歳代	小櫃地区は年々人口が減り、高齢者だけの世帯もあるかと思います。過疎地域と言えるかどうか分かりませんが、そこそこ子供もいると思います。高齢者から子供まで利用できるような施設。豊かな自然を利用した施設があると良いかなと思います。また診療所は高齢者から子供まで利用できる建物にしていきたいです。
60 歳代	人が集える雰囲気の良い施設
60 歳代	地域拠点化計画と聞いています。地域の実情を知る地域の人々の意見が未来を見据えた視点で反映されることを望みます。
60 歳代	地域住民で誰でも気軽に出入り可能でカフェラウンジや子供食堂の併設。バリアフリー
60 歳代	読書などできるカフェとか併設してほしい。
60 歳代	病院と併用できる施設
60 歳代	木造、小さな部屋、多くの図書、談話室、子供が遊べる広場、老人の憩いの場
60 歳代	友人等と小櫃で待ち合わせするところが無いので、木更津、君津になってしまう。図書館が玄関より遠くにあるので、利用しにくい、入口あたりに雑誌や、待ち合わせの場所があったら良い
70 歳以上	1 つの建物の中にまとめない方が良い。
70 歳以上	ショッピングモール
70 歳以上	飲食等を含めた施設
70 歳以上	簡単な運動ができるジム
70 歳以上	建物の構造はユニバーサルデザインで子どもから障害をお持ちの方、高齢者などが使いやすい施設を希望します。高齢化過疎化が進んでいく中で、先を見た内容を取り入れ、専門職員の配置を希望します。
70 歳以上	建物は自然豊かな環境にマッチした木製がベストか。老若男女が憩える場所。小櫃の歴史、文化などが伝わる場所。
70 歳以上	現在の外観は廃墟な倉庫と同じなので外観と内部をシンプルで明るくしてほしい。
70 歳以上	公民館、行政センター、診療所が同場所に統合した方が良い。
70 歳以上	公民館に行政センター、診療所を 1 か所にあれば、利便性があるが、災害時避難所また今回のコロナとかが発生した時、今の公民館では場所が狭いと思う。1 か所にしたら便利だと思う。
70 歳以上	行政センター＋公民館＋診療所＋お風呂、1 か所にまとまれば利用価値が上がると考えられます。
70 歳以上	今パソコンやスマホでのやり取りが主流なので操作等ちょっとした疑問に答えてくれる人を配置してほしい。
70 歳以上	今は内科しかないですが、もう少し外科的な施設がほしいですね。
70 歳以上	施設建設に金がかかるので知らない
70 歳以上	新たな公共施設には運動のできる外の施設また室内施設が併用できれば。
70 歳以上	誰でも気兼ねなく利用できるスペースの確保（読書、お茶を飲みながら仲間同士の会話）。診療所の併設。親子が集える空間。
70 歳以上	駐車場を広く、集団検診の会場となると健診車両の場所が限られる。また雨天時にも人がぬれずに受信できるような上屋があればと思います。また、駐車場を広く取り、ヘリポートにも利用できるよう整備が必要。
70 歳以上	年も年なので買い物だけで精いっぱいです。
70 歳以上	避難所としての機能の追加
70 歳以上	複合施設として、公民館、行政センター、社会福祉協議会、J A 支店など

年齢	意見
70 歳以上	目まぐるしく変化する経済社会において、個々人の暮らし方や過ごし方は大きく変わってくることが予想されます。必然的に公共施設のあり方は、それに呼応した内容が求められます。とりわけ市役所で進められている DX の推進計画が各地域行政のあり方として大きなポイントになるのではないのでしょうか。
無記入	小櫃にある「おふろ」はいらない。ない方がいい。

公民館について

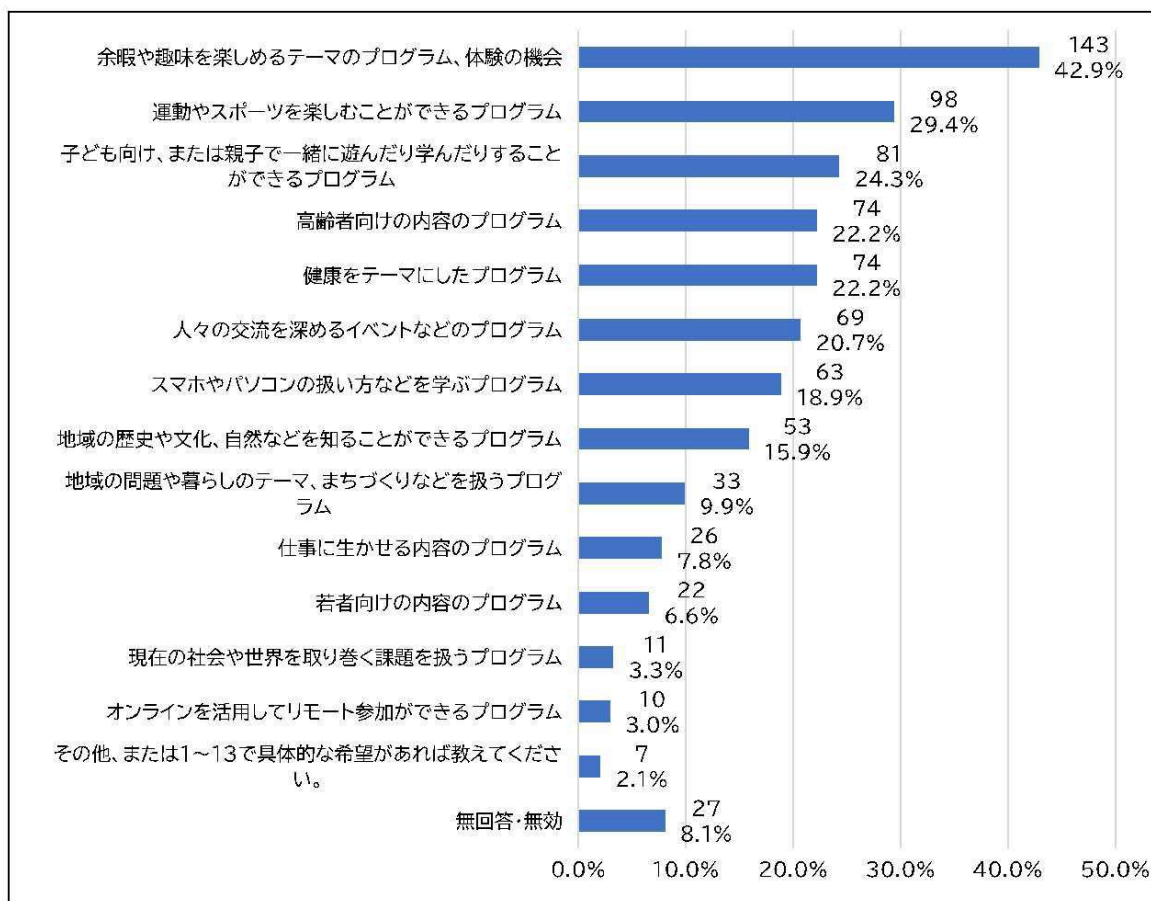
問8 新たな小櫃公民館でどのような取組みに力を入れたら、あなたは公民館をもっと利用したいと思いますか。(〇は特にそう思うもの3つまで)

「余暇や趣味を楽しめるテーマのプログラム、体験の機会」が 42.9%と最も多く、次いで「運動やスポーツを楽しむことができるプログラム」が 29.4%となっている。

	回答数	割合
余暇や趣味を楽しめるテーマのプログラム、体験の機会	143	42.9%
運動やスポーツを楽しむことができるプログラム	98	29.4%
子ども向け、または親子で一緒に遊んだり学んだりすることができるプログラム	81	24.3%
高齢者向けの内容のプログラム	74	22.2%
健康をテーマにしたプログラム	74	22.2%
人々の交流を深めるイベントなどのプログラム	69	20.7%
スマホやパソコンの扱い方などを学ぶプログラム	63	18.9%
地域の歴史や文化、自然などを知ることができるプログラム	53	15.9%
地域の問題や暮らしのテーマ、まちづくりなどを扱うプログラム	33	9.9%
仕事に生かせる内容のプログラム	26	7.8%
若者向けの内容のプログラム	22	6.6%
現在の社会や世界を取り巻く課題を扱うプログラム	11	3.3%
オンラインを活用してリモート参加ができるプログラム	10	3.0%
その他、または 1 ～ 13 で具体的な希望があれば教えてください。	7	2.1%
無回答・無効	27	8.1%

【その他または具体的な希望】

- ・ 休憩所
- ・ 世代によって需要が違うので「みんなで」というよりは世代毎の希望にそった内容を選択出来るプログラムの設定
- ・ プログラムに参加誘導するリーダの設定
- ・ 地域で取り上げた問題点の中から具体的に何が可能か検討してください
- ・ 苦情等含めた相談できる総合窓口
- ・ 車の運転ができないのでゆかれない
- ・ 資格が取れる。パソコン、簿記、英会話、マナー研修
- ・ 子育てで世代だったら楽しく利用したいが、今となつては自分のことで精いっぱい
- ・ パソコン教室
- ・ 動物と遊んだりする。犬・猫だけでなく小動物、インコとか、どうですか？
- ・ 5Gでの学習等
- ・ スマホを持っていても活用の範囲が分からないので、年寄りに分かるように。
- ・ 7：ダンスなどをやるのに鏡がある部屋が欲しい
- ・ 高齢者問題は大切な問題だが、若い人がより魅力を感じられるプログラムが欲しい。

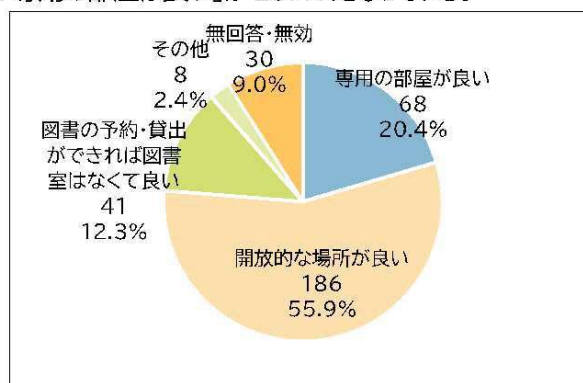


図書室について

問9 「新たな施設」での図書室について、どのように考えますか。(○は1つ)

「開放的な場所が良い」が55.9%と最も多く、次いで「専用の部屋が良い」が20.4%となっている。

	回答数	割合
専用の部屋が良い	68	20.4%
開放的な場所が良い	186	55.9%
図書の予約・貸出ができれば図書室はなくて良い	41	12.3%
その他	8	2.4%
無回答・無効	30	9.0%
計	333	100.0%



【4.その他回答】

- ・ 君津中央図書館のような開放的な図書館
- ・ 今現在の図書室の活用状況はどうなのでしょう。またどんなジャンルの本が置いてあるのか？
- ・ 読書スペースが欲しい。
- ・ カフェを併設してほしい
- ・ 専用の部屋が良い。電子図書の活用をイメージした図書室のあり方
- ・ 遠くて利用した事がないので分からない。
- ・ 専用の部屋が良い。小生も高齢で蔵書の処理に苦慮しているが希望者からの寄贈制度など作ったらどうか。

小糸地区公民館等再整備に向けたアンケート調査
集計結果（一部抜粋）

Ⅱ. 調査結果

今後の地区の公共施設について

問1 あなたは、現在、地区の公共施設をどのくらい利用していますか。

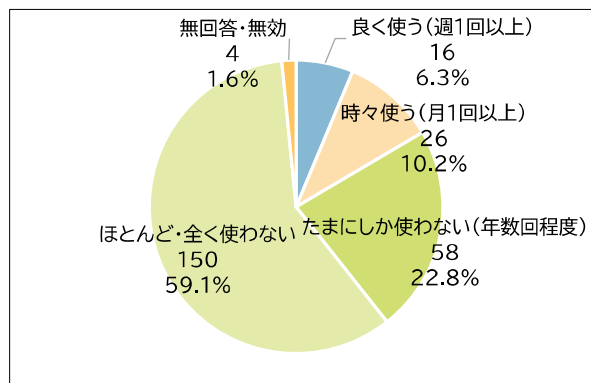
また、「3. たまにしか使わない」「4. ほとんど・全く使わない」と回答された方は、その理由を教えてください。

(1) 公民館

① 利用頻度

「ほとんど・全く使わない」が 59.1%と最も多く、次いで「たまにしか使わない（年数回程度）」が 22.8%となっている。

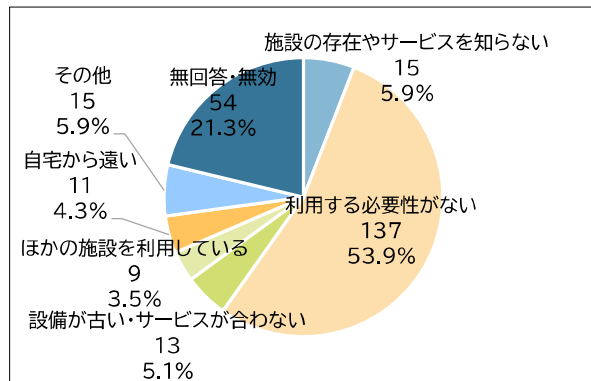
	回答数	割合
良く使う (週1回以上)	16	6.3%
時々使う (月1回以上)	26	10.2%
たまにしか使わない (年数回程度)	58	22.8%
ほとんど・全く使わない	150	59.1%
無回答・無効	4	1.6%
計	254	100.0%



② 使わない理由

「利用する必要性がない」が最も多く 53.9%となっている。

	回答数	割合
施設の存在やサービスを知らない	15	5.9%
利用する必要性がない	137	53.9%
設備が古い・サービスが合わない	13	5.1%
ほかの施設を利用している	9	3.5%
自宅から遠い	11	4.3%
その他	15	5.9%
無回答・無効	54	21.3%
計	254	100.0%



【(1)②その他回答】

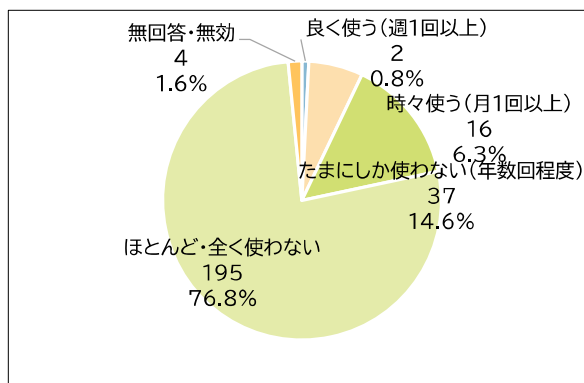
- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| ・ 私は使わないが、孫が使ってる | ・ 今リフォーム中 |
| ・ 仕事が忙しいことや休みは家の用事で時間がない | ・ 転居してきたばかり |
| ・ 利用することがほぼない | ・ 令和4年8月からパーキンソン発症以降活動なし |
| ・ 仕事が忙しくて時間がなかった | ・ 高齢者で |
| ・ 日中は仕事をしているため | ・ 入院中 |
| ・ 用事がない | ・ 介護のため余裕がない |

(2)図書室(図書の貸出・返却)

①利用頻度

「ほとんど・全く使わない」が最も多く 76.8%となっている。

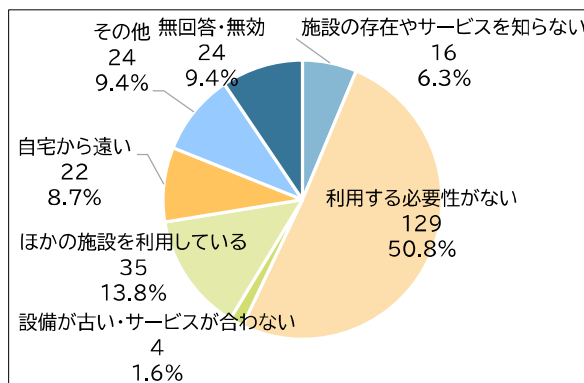
	回答数	割合
良く使う (週 1 回以上)	2	0.8%
時々使う (月 1 回以上)	16	6.3%
たまにしか使わない (年数回程度)	37	14.6%
ほとんど・全く使わない	195	76.8%
無回答・無効	4	1.6%
計	254	100.0%



②使わない理由

「利用する必要性がない」が最も多く 50.8%となっている。

	回答数	割合
施設の利用やサービスを知らない	16	6.3%
利用する必要性がない	129	50.8%
設備が古い・サービスが合わない	4	1.6%
ほかの施設を利用している	35	13.8%
自宅から遠い	22	8.7%
その他	24	9.4%
無回答・無効	24	9.4%
計	254	100.0%



【(2)②その他回答】

・ スマホ、タブレットで探して解決できている	・ 図書室に読みたい本がない
・ 利用する時間がない	・ コロナ
・ 暇が無い	・ 駐車場がせまい
・ あまり本を読まない	・ 高齢者で
・ コロナ前は利用していた	・ 入院中
・ 多忙なため本を借りに行く時間が取れない。本は、基本的にネット購入している。借りるために選んだり、返しに行く時間が取りにくい	・ 運動やスポーツができない
・ 転居してきたばかり	・ あまり本を読まなくなった。
・ 本はあんまりよまん	・ 読みたい本は自分で購入
・ 仕事で忙しい	・ 施設が古い、狭い、対応してくれる人によって本を借りるのに 10 分近くかかることがあるので。
	・ 本をほとんど読まなくなった

問2 「新たな施設」には、地区の公共施設の機能を複合化または集約化することを検討していますが、「新たな施設」に期待することは何ですか。(〇は2つまで)

「用事がなくても憩い・くつろぐことができる環境の整備」が 39.0%と最も多く、次いで「余暇や趣味を楽しむことができる機能の導入」が 28.0%となっている。

	回答数	割合
用事がなくても憩い・くつろぐことができる環境の整備	99	39.0%
余暇や趣味を楽しむことができる機能の導入	71	28.0%
利便性の向上	64	25.2%
運動やスポーツを楽しむことができる環境の整備	47	18.5%
こども達が放課後や休日等に気軽に集まれる場所の整備	41	16.1%
地域住民の活動スペースの確保	26	10.2%
読書や自主学習ができるスペースの確保	25	9.8%
こどもを連れて遊んだり学んだり楽しむことができる環境の整備	25	9.8%
市内外から人が訪れるような機能の導入	17	6.7%
利用者が限定されている施設や維持管理に多くの経費がかかる機能の見直し	10	3.9%
仕事や会議ができる機能の導入	10	3.9%
その他機能など	11	4.3%
無回答・無効	14	5.5%

【「利用者が限定されている施設や維持管理に多くの経費がかかる機能の見直し」の具体的な内容】

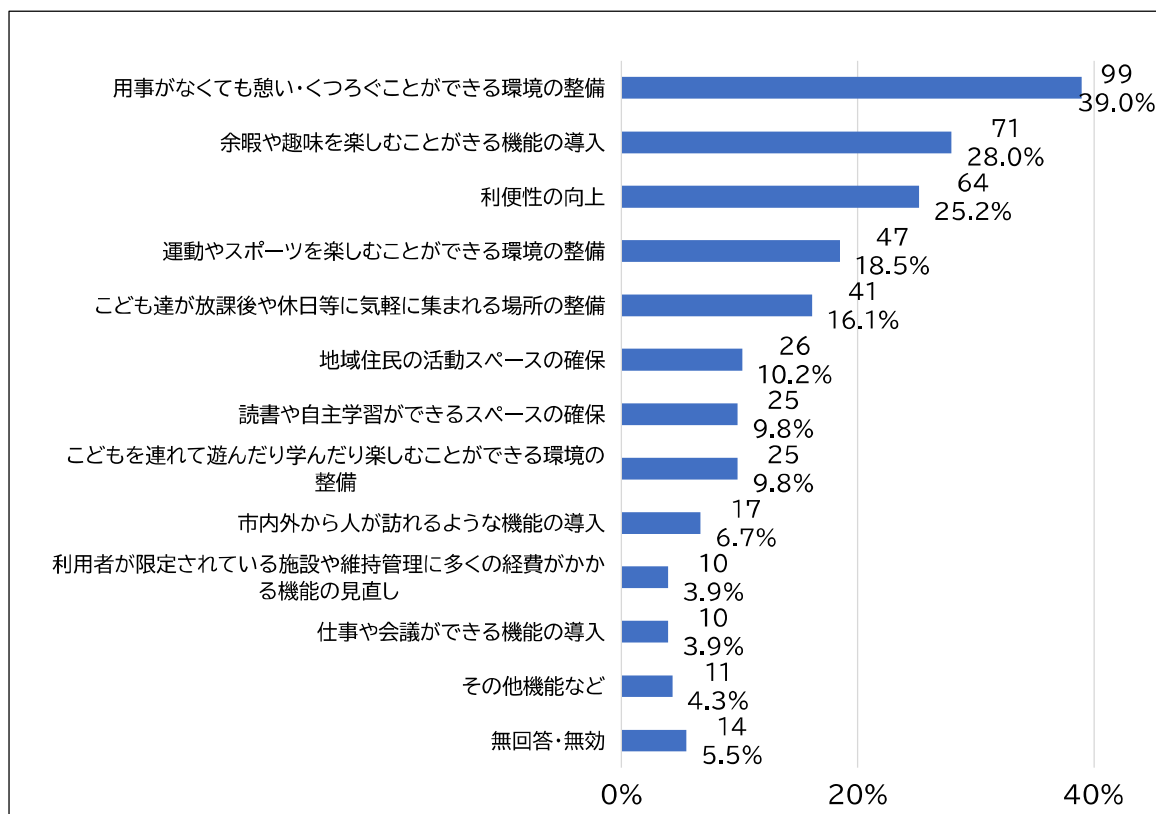
- ・ 老人限定や、関係者以外立ち入れない感じを出している施設が多く感じる。その点、上総地域交流センターを見習って欲しい。私はそこで、市民活動や他の情報を入手しています。小糸公民館は一般市民の立ち入りが出来ない施設に感じ、近くに住んでいてもわざわざ市役所や上記のセンターを利用しています。
- ・ そもそも公民館の必要性を感じない
- ・ 現在特定の人しか利用していないように感じる。
- ・ 少子高齢化。将来的に人口減、今のうちに施設の集約化
- ・ あまり利用しないのでよくわからないが、利用する人の割に配置されている人が多いように感じる。本当に必要な数であれば、必要な数の配置はあってよいと思うが。

【その他機能などの内容】

- ・ 神奈川の市民センター、交流センター等見習った公民館作りをするべき。具体的内容をここに記載しなくても、そちらを参考にしてください。
- ・ バーベキュー、花見、ピクニック等が出来る施設
- ・ 市役所機能等
- ・ インターネットを利用できる環境
- ・ 生涯学習 市民大学等
- ・ どんな機能を持たせるにしても、その場で実施されるプログラムが時代にそぐわない古いものであると利用率の低下は抑えられないと考えます。基本構想段階から運営時のプログラムなどもより具体的にイメージし、しっかりとした設計者（時代にあった感性をお持ちの方）とともに検討していくのが望ましいかと思います。よくある失敗は、あれもこれもと不特定多数の方をターゲットに設定してしまい、あれもこれも盛り込み過ぎて一つ一つが全て中途半端になるケースです。必ず予算と期間に限りがあるので、そのバランスをしっかり見極められるプロジェクトチームの人選が重要だと考えます。
- ・ 市民の活動、行政、民間が有機的に繋がれる場（職員機能含め）＝公民館機能だと思うがこの選択肢が無いのはいかがなものか
- ・ 遠くから来る人（親類、友達等）が宿泊できる施設の整備。※現在の家は部屋数が少なく寝具もな

い状態である。

- ・ 自販機等での喫茶コーナー設置
- ・ 災害時の避難所
- ・ 新たな施設が必要ですか？税金の無駄使いでは。
- ・ 交流会等、民間企業との併利用



問3 「新たな施設」に、求めるイメージやアイデアなどがあれば自由にご記入ください。

年齢	意見
10 歳代	おしゃれなカフェ
10 歳代	バリアフリー
20 歳代	雨の日などに子供たちが遊べるようにとか。ある県では雨の日などに室内の遊び場があり、50円でプラネタリウムなどが観れる施設などがあります。
20 歳代	手軽にお茶ができるカフェ等があると良いなあと思っています。
20 歳代	図書館がせまいと感じているので広げて、自習室や憩いの場としても利用できるようになれば、小糸の学生（中～高）も利用したくなると思う。
20 歳代	地域の子どもたちが思い入れのある場所（なにか制作したり）にすれば、大きくなっても遊びに来てくれると思います。個人的なことですが中学では吹奏楽部でした。みんなで楽器を演奏できる場所がほしいです
20 歳代	地域の特性を活かした体験型施設(防災、農業等)
30 歳代	雨の日に子どもが1日遊んで過ごせる施設が欲しいです。機能としては、体育会内の遊び場、図工スペース、図書館、食堂が欲しいです。体育館内の遊び場では、アスレチック、トランポリンなどが欲しいです。図工スペースでは、工作やアートなどが楽しめる場が欲しいです。具体参考イメージとしては、高い理想を持つとSORAI（山形県鶴岡市）、既存施設を活かす形だと、『ナチュの森』内「あそびひろば」（北海道白老町）などのイメージです。
30 歳代	家の不用品を物々交換できる場所
30 歳代	会議で場所を提供したいので、夜の利用も可能にしてほしい。 子供にも気軽に利用できるようにPRする。
30 歳代	君津には大型ショッピングモール等がないので、土地が広い小糸地区にできたらいいと思います。又は大きい公園なども少ないのであるといいなと思います。
30 歳代	趣味やスポーツのサークルを年齢不問で作り、大人と子供で交流して地域の活性化と子供の可能性を上げる。楽器サークルなど、年齢、体格、性別が関係ないので良いと思います。
30 歳代	小糸地区の自然豊かな環境が活かされた施設になればいいなと思います。
30 歳代	地域の特性を活かしつつ、地域に縛られない自由な交流の場になるような施設
30 歳代	駐車場が広く、いつでも使えて明るいイメージ
40 歳代	カフェを併設した図書室
40 歳代	どの世代でも入りやすいオープンな雰囲気にして欲しい 活気があるとよい
40 歳代	フリーWi-Fi
40 歳代	飲食店がないから少し座ってお茶したいとかできないから、ゆったりできるスペースが欲しい。
40 歳代	喫茶店（お茶やランチができる場所）
40 歳代	今後、少子化が克服されず、高齢化や人口減少が予想されるなら、あまり予算をかけずコンパクトな施設でも良いと思う。ただ災害時のための対策（備蓄や避難場所の提供等）はあった方がよいと思う。また高齢化を考えるなら施設へのアクセシビリティのための公共交通機関（バスなど）が必要かもしれない。
40 歳代	子ども達が安心して遊べたり集まれる場所。地域住民などの健康に関わる場所やお茶などができる場所。
40 歳代	子供の遊び場が減っているので、子供が遊べる室内の施設が充実してほしい。
40 歳代	子供ばかりではなく、大人が楽しめる場所がほしいです。
40 歳代	市役所、カフェ、食事処
40 歳代	私の地域でも、若者が出て行ってしまい人口減少が問題となっておりますが、やはりお洒落なイメージは大事かと思われます。これは施設自体もそうですが、その中のシステムやオペレーション、そしてそこで働くスタッフやサービス全てに必要な要素であると考えます。 なぜ都会に憧れるのか、大学など学業を学ぶために東京ということもあると思いますが、やはり「華やか・お洒落・最先端」などの理由が大きいのではないかと思います。 そして、ここでお洒落というのは単に都会の模倣ということではなく、この地域の産業などが古臭くなく、「お洒落で地域を誇れるもの」として感じられる」というだと考えます。

年齢	意見
40 歳代	小糸公民館は入り口（玄関）が奥まっているので、やっているのかやっていないのか分かりにくい。開館していると思って行ったら閉まっていた。コロナだから仕方ないけど。車で前を通って、開館へ移管しているのか分かるだけでもありがたい。全体的に薄暗いので明るくしてほしい。駐車場が狭いので、スペース、台数をもう少し増やしてほしいです。
40 歳代	地区の公共施設であるため、市外から人が訪れるような機能というよりは、地域に密着した施設であってほしい。公民館はなんとなく暗く古い感じがする。明るい、子供も行きたいと思う施設になってほしい。トイレなど古くて行きたくない。災害時に対応できる施設づくりをしてほしい。
40 歳代	中央図書館や中央公園のイメージで木材を中心とした施設
40 歳代	放課後預ける場所が足りていないので、学童保育してほしいです。
40 歳代	明るく開放的な雰囲気にしてほしいです。
40 歳代	陽射しが入り明るい館内の目前に広がる外遊びできる広場（子どもたちが広場で遊ぶ様子が館内から見える） 色々なジャンルのことがここに来れば一度に済むという複合的な施設
50 歳代	カフェなどがあると良い
50 歳代	スポーツジム、開かれたクラブ等の活動
50 歳代	スポーツジムにあるような器具を安く使えて運動できる広い空間が欲しい。インターネットの利用で諸手続きも完結できると良い。
50 歳代	異年齢の交流
50 歳代	開放的な建物で誰でもが使用できる空間
50 歳代	外部のコーヒーやケーキなどが専門店に入り食べれる場所があると施設利用者が増えると思う。
50 歳代	学童保育や、老人デイサービスなども空いている部屋でできる施設 廃校の活用が大切だと思う。学校はかなり大きいので、中に、いくつかの活用方法があって良いと思う。元気なお年寄りが経営するカフェなどがあると良い（お年寄りの新しい仕事のあり方を生きがい作りなど）
50 歳代	喫茶コーナーがあったり、子ども食堂的な機能を満たしたりできる シルバーの方や、障がい者雇用がされていて、生きがいを得たり、活躍できたりする場である 気軽に立ち寄ることのできる場である ワークショップやミニイベント、フリマ等の開けるようなオープンスペースがある
50 歳代	高齢者にも乳幼児、また学生 皆が 安心して集い また その繋がりを大切にできる施設
50 歳代	今の公民館は障がい者は使いづらいのでバリアフリーにしていただけるとありがたいです。
50 歳代	今はまだ働いていて運転できるが、70代、80代となった頃、施設ができては行くことができないので、無料のバス等があると望ましい。
50 歳代	芝生の広場、噴水、各種運動場、ベンチ、テーブル、キッチンカー場、軽食喫茶
50 歳代	集い、学び、五感を満たしてくれる公民館と、各種手続き、観光案内、相談対応(子育て、障がい、介護、就業、外国人...)充実したサービスを提供できる行政センターであってほしいです。 災害時、地域の老若男女、他市からの訪問者が「ここに避難すれば安心」「安心安全な君津に住みたい」と思われる避難場所でもあってほしいです。再整備案には、停電・断水・道路寸断などを想定した準備をしてほしいです。特に、災害時は多くの避難所でトイレの問題が切実となります。複数のマンホールトイレを準備した設計を希望します。
50 歳代	少子高齢化に対応した、無駄の無い施設。
50 歳代	図書室にろくな本がない。あと、水場などあってもいいのでは？
50 歳代	赤ちゃんが行っても、おむつ替え、ミルクのお湯が使える施設にしてほしい。
50 歳代	避難場所になる
50 歳代	武道場、柔道場
50 歳代	目的があってもなくても利用できる場所。目的なく立ち寄ったり、別の目的で来たときに、新たなことや人と出会える場
50 歳代	目的がなくてもふらっと立ち寄り過ごせるような場所
50 歳代	老若男女が自然と集うような施設

年齢	意見
60 歳代	温泉や足湯、アスレチック、軽食
60 歳代	開放感が有り利用しやすい施設
60 歳代	気軽に体を動かせる運動器具があるとよい
60 歳代	君津にも袖ヶ浦公園のような所があれば子供も大人もご年配の方も楽しめると思うことがあります。でも小糸だと場所むずかしいですね。
60 歳代	君津市は大きいプールがなく、子供から大人まで、安価で利用できる施設があると嬉しいし、健康につながるように思えます。
60 歳代	行政窓口のほかに地域、自治会住民が利用可能な施設
60 歳代	高齢者が体力アップできる設備が欲しい
60 歳代	災害の時の避難所の設備の充実
60 歳代	災害時の諸設備
60 歳代	子どもから高齢者までが利用したいと思えるような場所
60 歳代	子どもから高齢者まで利用できる施設
60 歳代	子どもの遊ぶ場所の隣に大人のスポーツする場所があり互いを見ることができる。そして保護者などがおしゃべりしながらそちらを見られる場所が併設されているとありがたい。
60 歳代	市街地ばかり便利にするのは不公平でならない。余計に過疎化する。不便を感じる。対策してほしい。「新たな施設」とはこの事か？
60 歳代	市民の役に立つ施設
60 歳代	純日本風建築
60 歳代	日東バス（君津より、木更津より）が小糸（中島バス停）まで来てくれますが、公民館まで来てほしい。学生が安心して公民館で親の送迎を待てるようにしてほしい。中島のバス停は車の待機する場もない。
60 歳代	年齢問わず市民憩いの場
60 歳代	避難所や憩いの場を兼ねる
60 歳代	明るく開かれたイメージを求めます。 現状は暗く静まりかえり活動の様子を感じることができません。新しい施設には広く明るくバリアフリーな皆が集えるロビー、そこからは図書室や各スペースへの動線がハッキリしてて様子が垣間見えるのが理想です。 施設の集約化大賛成です。生きがい支援センターとぼっころームが遠すぎます。老と幼とリハビリなどを集約して活気ある公民館にしてください。あと、駐車場も使いにくいです。公民館と生きがい支援センターエリアを含めて広く安全な駐車場にしてほしいです。 理想ばかりかも知れませんが、希望を述べさせていただきました。
60 歳代	明るく開放的なイメージ
60 歳代	野外ステージ等のイベントや、各メーカーの展示スペース、物産品（地域＆他府県の特産品等）の販売。高齢化社会にそなえたワークショップの定期的な開催。
60 歳代	有料の教室等、興味があっても躊躇したりします。窓ガラス越しに見えたりすると、楽しさなどわかるかも。敷居が高い（日頃利用していないと行きにくい）をなくす自由空間
70 歳以上	コミュニティバスで行けること
70 歳以上	コンビニ、パン屋さん、無人の餃子屋さん、他の業種に場所を貸す君津には源頼朝ゆかりの場所が多いので記録に残しておいてほしいです。
70 歳以上	ジビエ推進機能の普及
70 歳以上	ビジネスホテル等の宿泊できる施設。仕事ができる個室
70 歳以上	レストラン等を作り、1 日過ごせる施設。美術館や君津市の資料館的施設
70 歳以上	飲食ができるようなもの（コンビニやコーヒーなどの店）
70 歳以上	英会話教室の導入。ランク別に初心者、中級者等。
70 歳以上	基本的に「公民館」や「生きがい支援センター」の機能がわかっていない（知らない）ので、利用することもない。年をとると用事があっても市の中心部に行くのが大変になるので、近くで済ませられるのがありがたい。理想は自宅から歩いて行ける場所にあると良いのだが。
70 歳以上	喫茶店、バーがあってよい。アルコールの提供できるレストラン
70 歳以上	急激に変化する社会に適応できるよう、相談できる窓口を 1 本化してほしい。どこに行けばよ

年齢	意見
	いかなど不明。何か所かまわるには体力不足です。
70 歳以上	婚活ができる。参加しなくても登録して、いい方がいましたなら、プライバシーを考えてそっと教えてくれれば。本人でなく親も最と考えてもらいたい。独身があまりにも多い。
70 歳以上	災害があった時子供や老人が安心して避難できる、衣服、食事、日用品が買える施設
70 歳以上	施設必要なし
70 歳以上	若い人もお年寄りの方も楽しめる所
70 歳以上	専門の方におまかせします。
70 歳以上	駐車スペースの確保
70 歳以上	買い物ついでに友達と立ち寄って、ちょっとお茶ができるような自動販売機などがあり、小さなテーブルのある広い空間のある場所（お年寄りも徒歩や押し車などで寄れるような）
70 歳以上	老人の生きがいを見出す場。精神的にも気軽な気持ちで集まることのできる場
無記入	・年齢を問わず集える交流の場 ・サークル活動の品の展示などを常時行うことで人が楽しく活動できると共に家族も楽しめると思う。

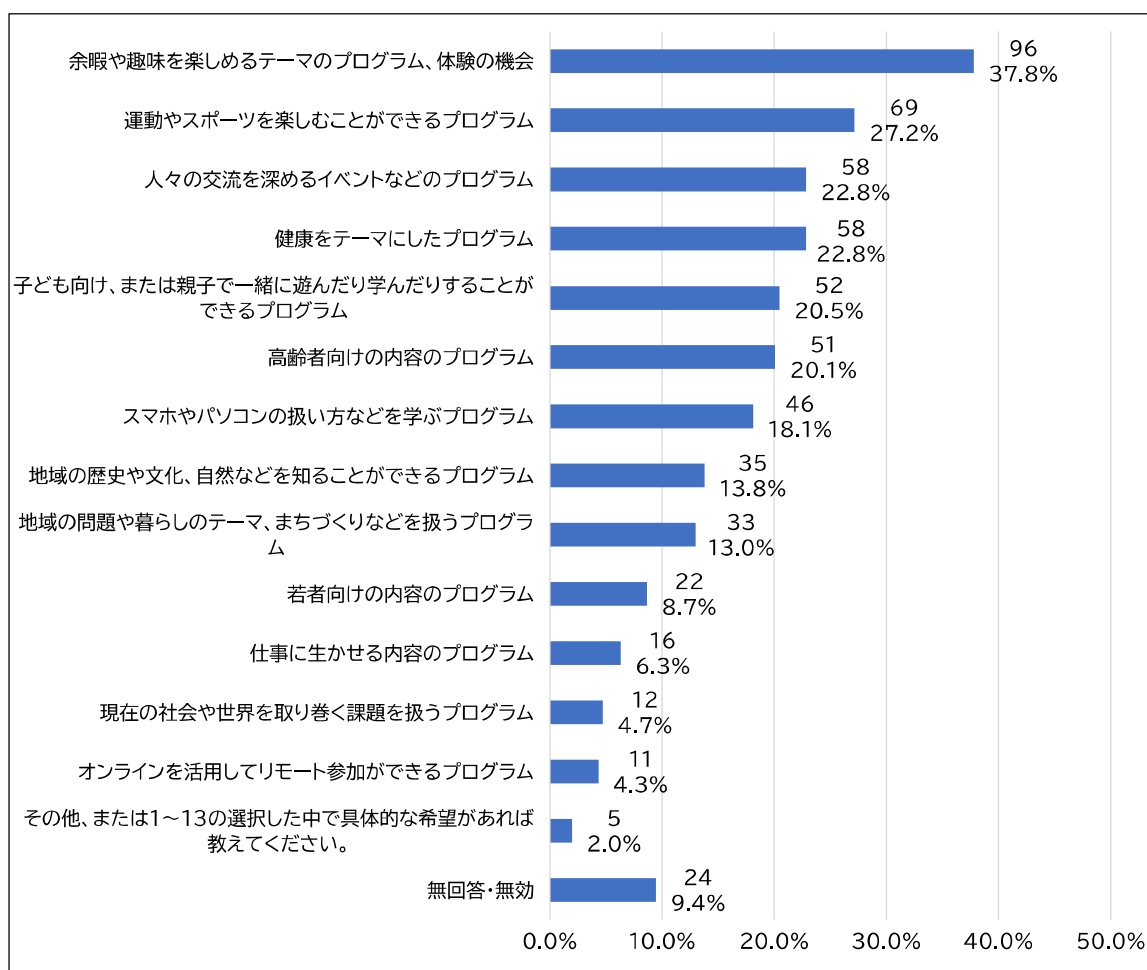
問8 新たな小糸公民館でどのような取組みに力を入れたら、あなたは公民館をもっと利用したい
と思いますか。(〇は特にそう思うもの3つまで)

「余暇や趣味を楽しめるテーマのプログラム、体験の機会」が 37.8%と最も多く、次いで「運動やスポーツを楽しむことができるプログラム」が 27.2%となっている。

	回答数	割合
余暇や趣味を楽しめるテーマのプログラム、体験の機会	96	37.8%
運動やスポーツを楽しむことができるプログラム	69	27.2%
人々の交流を深めるイベントなどのプログラム	58	22.8%
健康をテーマにしたプログラム	58	22.8%
子ども向け、または親子で一緒に遊んだり学んだりすることができるプログラム	52	20.5%
高齢者向けの内容のプログラム	51	20.1%
スマホやパソコンの扱い方などを学ぶプログラム	46	18.1%
地域の歴史や文化、自然などを知ることができるプログラム	35	13.8%
地域の問題や暮らしのテーマ、まちづくりなどを扱うプログラム	33	13.0%
若者向けの内容のプログラム	22	8.7%
仕事に生かせる内容のプログラム	16	6.3%
現在の社会や世界を取り巻く課題を扱うプログラム	12	4.7%
オンラインを活用してリモート参加ができるプログラム	11	4.3%
その他、または 1 ～ 13 の選択した中で具体的な希望があれば教えてください。	5	2.0%
無回答・無効	24	9.4%

【その他、または具体的な希望】

- ・ 筋トレルームが欲しい。現時点での問題点の解決を模索。
- ・ 利用する目的がない。必要性を感じない。
- ・ IT の活用
- ・ 老後に活用出来れば良いな。40 代では行く予定は無いです。
- ・ 食に関すること。地域直産を生かした料理。子ども食堂。老人食堂。味噌づくりや梅干しの付け方などのワークショップ等。
- ・ 周東中の吹奏楽部と経験者の大人が集まって演奏してみたい
- ・ 何をするかというよりは、どうお洒落に感度高いものをできるかが重要だと思います。古臭い手作り感などが現在のイメージで、近寄りがたいので、そこをどのように改善できるかがポイントだと思います。
- ・ 土日も含め利用できる小糸地区住み向けのジムなんて利用出来たら嬉しいですね。働いている世代にもお金をかけてください。
- ・ 行政からの提案ではなく、住民から自発的に意見が言える仕組み。言ってもいいと思わせる仕組み。
- ・ お年寄りに教わるおばあちゃんの知恵袋など、昔の方の暮らしの知恵を後世に残していきたい。
- ・ マルシェ、朝市。
- ・ 今は平日の活動が多く、高齢者向けな感じがする。仕事や学校があると、平日の昼間に集まることは難しいので、内容だけでなく時間も考えた方が良いと思う。
- ・ ちょっと小高い丘、山（近くにある）を、気楽に歩けるような場所があると良い。理想は歩きたくならない気持ちの良い場所。何か無機質な感じの所が多いので。
- ・ 英会話教室（通年）…ランク別に初心者、中級者等
- ・ 亀山少年自然の家のように、人が集まるイベントを行うといいのに。小糸カラーの販売とか、苗の販売とかしても良いと思う。

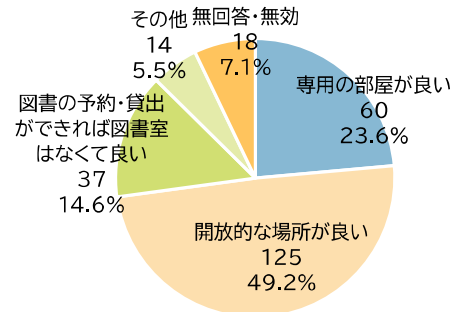


図書室について

問9 「新たな施設」での図書室について、どのように考えますか。(○は1つ)

「開放的な場所が良い」が 49.2%と最も多く、次いで「専用の部屋が良い」が 23.6%となっている。

	回答数	割合
専用の部屋が良い	60	23.6%
開放的な場所が良い	125	49.2%
図書の予約・貸出ができれば図書室はなくて良い	37	14.6%
その他	14	5.5%
無回答・無効	18	7.1%
計	254	100.0%



【その他回答】

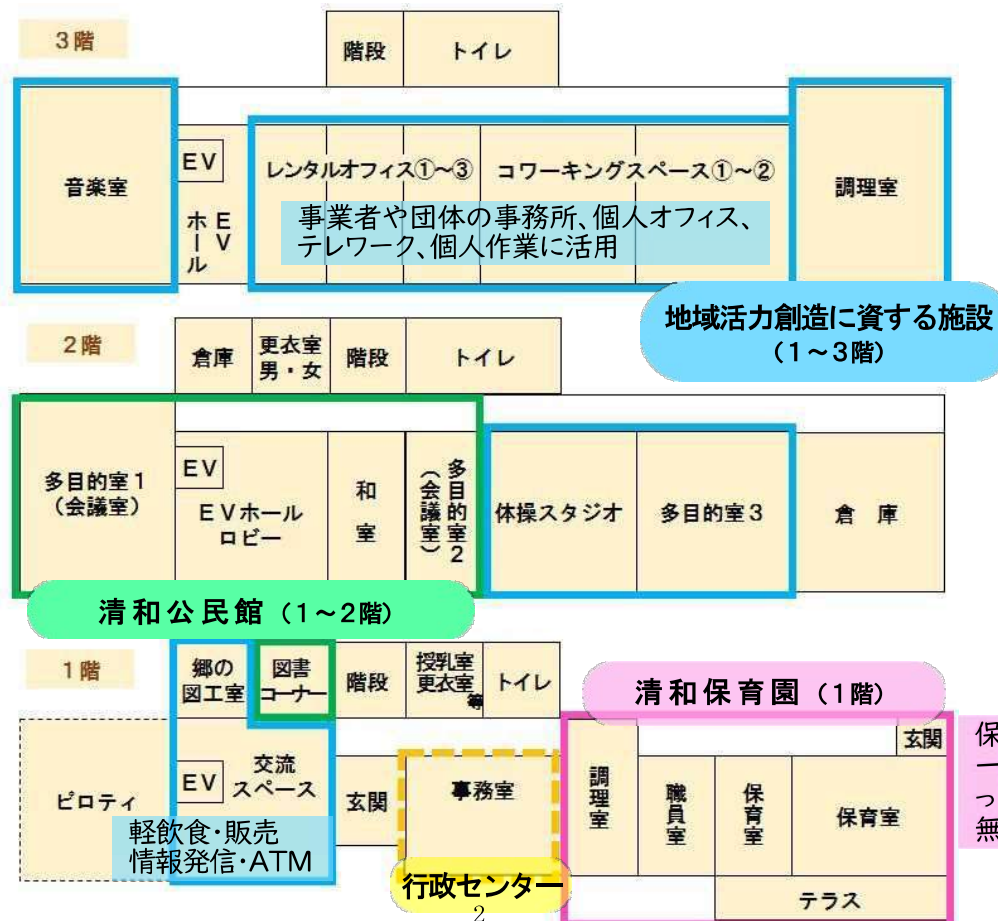
- ・ 図書室があることを知らない
- ・ 利用する人が居るのか？
- ・ コストをかけない方法で
- ・ 中央図書館のような、個人のパーティションがある造り
- ・ 施設のコンセプトによる
- ・ 不要。何故？図書室？ネット社会。
- ・ 利用した事がありません
- ・ 民俗資料館と一緒にになっている図書館
- ・ 改まって「本を読む場所」ではなく、気楽にお茶でもしながら、読書もできて、少し小声でお話しもできるような場所があれば良いのでは。本格的に本を読むのは中央図書館で良いし、小糸図書館は「前述」の様であって。あと今あるようなスマホでの検索、取り寄せ、返却ができればそれで良いのではないか。お金の問題がなければ現状でもよいかもしれないが、新しい時代に合わせていくことも必要だと思う。
- ・ 作る必要性を感じない。無駄な投資では？
- ・ 宝典や 1/2500 の白地図、住宅地図などコピーがとれるようにしてほしい。
- ・ イメージがわからなくて分からない
- ・ 図書館がせまいと感じているので広げて、自習室や憩いの場としても利用できるようになれば、小糸の学生（中～高）も利用したくなると思う。
- ・ 静かな環境でゆっくりと本を選ぶこと。もう少し新刊、新しい本、雑誌、趣味（旅行、自然、料理 etc.）など多種にわたる本があればいいと思います。1 年を通して同じ本しかないのでは。

3 施設レイアウトイメージ

全体図



館内図



4 拠点施設が果たす役割

人がつどい、にぎわいが生まれる 新たな地域の拠点

- ・生涯学習、地域交流及び地域支援の機能などにより構成
- ・地域特性を生かした地域活性化に向けた取組や、地域の課題解決に向けた取組を実施するとともに、地域住民を中心とした各種活動の支援やコーディネート等を行う

公民館

生涯学習・地域活性化

- ・地域の学習文化活動を支援
- ・図書サービス及び文化財資料活用の機能
- ・地域内外の人の力を相互につなぐハブ的な事業
- ・広い清和地域に出向く事業

行政センター

市役所の出張所

- ・デジタル技術を活用
- ・本庁サービスを身近に利用
- ・災害時：情報の収集・発信と広報、対策室及び電源、資機材等の確保

保育園

清和の子育てを支える

- ・一時預かり保育などのサービス拡充により多様な働き方を支援
- ・施設の各機能との連携や住民との多世代交流
- ・見守り、支え合いながら地域ぐるみで子育てをする保育園

地域活力

地域活性・課題解決

- ・ワークショップ、アンケート、地域準備会での議論を基に
- ・地域住民、民間事業者、行政の協働による取組（仕組みづくり・イベント等）
- ・交流スペース等でのにぎわいの創出

避難所

防災機能

- ・屋内運動場及び本館の一部を避難所の居住スペースとして活用

5 整備工事



今後の整備工事のスケジュールは？

令和5年1～11月	本体改修、屋内運動場・外構改修、周辺道路整備
令和6年1月	施設供用開始（オープン）※清和保育園は時期検討中
令和6年度夏～秋	進入路拡幅

今後の社会情勢による資材調達等への影響から、変更になる可能性もあります。

(1) 解体工事（プール、旧清和共同調理場等）【完了】

- ・ プール及び付属棟、旧清和共同調理場及び付属棟の解体。教材倉庫、飼育小屋、グラウンド遊具、植栽等の撤去
〔有限会社奥村工業（君津市市宿）〕



(2) 本館・屋内運動場・外構の工事



どのような施設整備が行われるの？

- これまでの秋元小学校の雰囲気継続するため、既存の建物・内装を生かしつつも、「学校」から「集会所」に用途が変更となることに伴い、法令に準じた改修を行います。
- 保育園は、テラスを設置し、内装や設備は保育環境に適したものに改修します。
- 主な工事内容と請負業者は次の通りです。

本館	建築工事	屋根・外壁・内装の改修、渡り廊下の屋根改修 など 〔太勢建設株式会社（君津市常代）〕
	電気工事	受変電設備改修、発電設備、情報通信網設備 など 〔キミデン工業株式会社（君津市北子安）〕
	機械工事	空調・換気設備設置、給排水衛生設備改修 など 〔株式会社協同建設（君津市外箕輪）〕
屋内運動場	屋根、内装、電気設備等を改修 など	
外構	一般用駐車場整備、フェンス新設 など	
		令和5年2月中旬 整備工事 着手予定

照明LED化
エレベーター設置
Wi-Fi 環境整備
非常用発電設備
エアコン設置
トイレ改修
雨漏り補修
外壁補修

(3) 周辺市道の整備工事

- 周辺道路〔令和5年度工事予定〕
旧秋元小学校側へ道路拡幅をし、車道幅員4mの1車線道路で旧秋元小学校側へ幅員1.5mの歩行空間を設けます。
- 進入路〔令和6年度工事予定〕
農協清和支店側に拡幅予定（現在協議中）です。2車線道路として、道路北側へ幅員1.5mの歩行空間を設けます。令和6年度以降の工事を予定しています。

6 令和5年度について

令和5年度は、整備工事と並行して、地域活性化や課題解決に向けた事業に取り組んでいきます。合わせて、施設の愛称募集、事前利用説明会、オープン記念行事も実施します。

また、本市のモデルとなる新たな地域拠点として、地域の暮らしの充実と活性化に取り組むことができるよう、新たな組織体制の準備を進める予定です。



清和地区拠点施設整備推進室

電話

0439-56-1541

メール

seiwa-s@city.kimitsu.lg.jp



H P

<https://www.city.kimitsu.lg.jp/soshiki/112/>



清和地区拠点施設整備たより No.8

第4回地域説明会配布資料

2023(令和5)年1月14日

発行：清和地区拠点施設整備推進室

空き校舎となった旧秋元小学校に、清和行政センター・清和公民館・清和保育園・避難所等の機能と、地域の活性化や課題解決を図る「地域活力創造機能」を導入し、新たな地域の拠点として再整備する事業が進んでいます。この「たより」は、この事業の進捗状況をお伝えすることを目的に発行しています。今号は、1月14日開催の地域説明会での配布資料です。

1 これまでの経過

平成29・30年度	清和地区公共施設ワークショップ
令和2年4月	秋元小学校と三島小学校が統合し、それぞれが空き公共施設となる。
6月	旧秋元小学校跡施設を活用した公共施設の複合化に関する説明会〔第1回地域説明会〕
10月	基本構想・基本計画に着手
令和3年2月	基本構想 策定
3月	基本構想地域説明会〔第2回地域説明会〕
3月~12月	旧秋元小学校複合整備地域準備会(参加36組42名・全11回)
4月	清和保育園が小系保育園にて合同保育開始
5月	基本計画 策定(自治会回覧「たより」やHPにてお知らせ)
7月	設計に着手
令和4年4月	地域準備会の議論を基に、「コミュニティ清和」設立
7月~12月	段階的に設計完了(12月最終的に設計完了)
8月	第3回地域説明会(書面による代替開催)
9月~12月	プールなど解体工事

平成29・30年度のワークショップや、3回の地域説明、令和3年の地域準備会などを経ながら、基本構想、基本計画、設計が進んできました。

2 施設整備の概要と方向性

旧秋元小学校を活用し、「人がつどい、にぎわいが生まれる、新たな地域の拠点」として、清和行政センター・清和公民館・清和保育園・避難所等の機能と、地域の活性化や課題解決を図る「地域活力創造機能」を整備します。



「人がつどい、にぎわいが生まれる、新たな地域の拠点」とは何？

- 再整備する旧秋元小学校が清和地区の「暮らしを支える地域の拠点」と「地域の活性化を促し、地域課題の解決に取り組む地域の拠点」となることを目指します。

2023年7月24日(月) 令和5年度第2回君津市社会教育委員会議

清和公民館の再整備に関連して

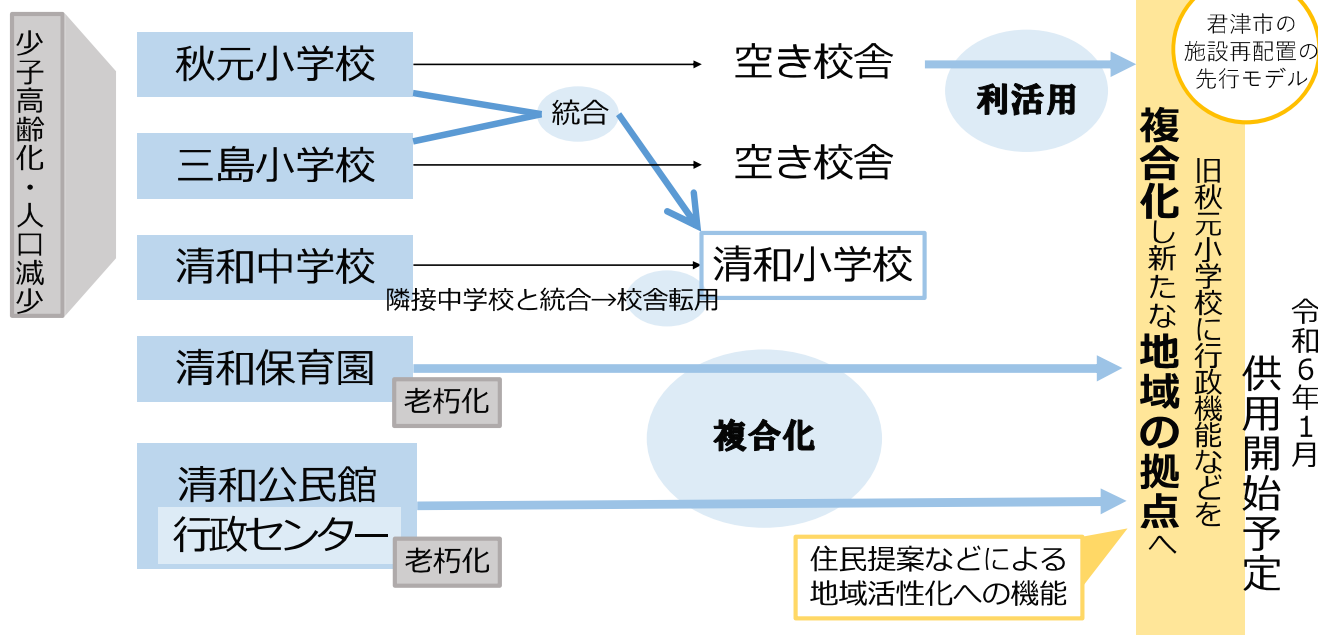
- ① (仮称) 清和地区拠点施設整備に関連する動きと現状
- ② これまでの取組において大切にしてきた社会教育の視点

中村亮彦 (生涯学習文化課/市民活動支援課)

1

1 (仮称) 清和地区拠点施設整備に関連する動きと現状

(1) 小学校空き校舎を活用した新たな地域拠点施設の整備



1 (仮称) 清和地区拠点施設整備に関する動きと現状

(1) 小学校空き校舎を活用した新たな地域拠点施設の整備

人がつどい にぎわいが生まれる 新たな地域の拠点

① 暮らしを支える地域の拠点

行政機能の維持と複合化による市民サービスの向上

地域住民がつどう、地域コミュニティ形成や支え合いの拠点



② 地域の活性化を促し、地域課題の解決に取り組む地域の拠点

各種の活動や地域課題への取組を効果的にコーディネート・情報発信

若い世代や女性が暮らしやすく活動・活躍できる地域づくり

清和に住みたい、行ってみたい、住んでみたいと思える地域づくり

位置付け・名称は令和5年4月現在

館内図

清和公民館 (2階・1階)

- 多目的室1・2、和室、図書コーナー
- 窓口は1階事務室に配置

清和保育園 (1階東側)

- 保育室2、調理室、職員室、テラス
- 保育園エリアは、一般利用者が誤って入ることの無いよう配置

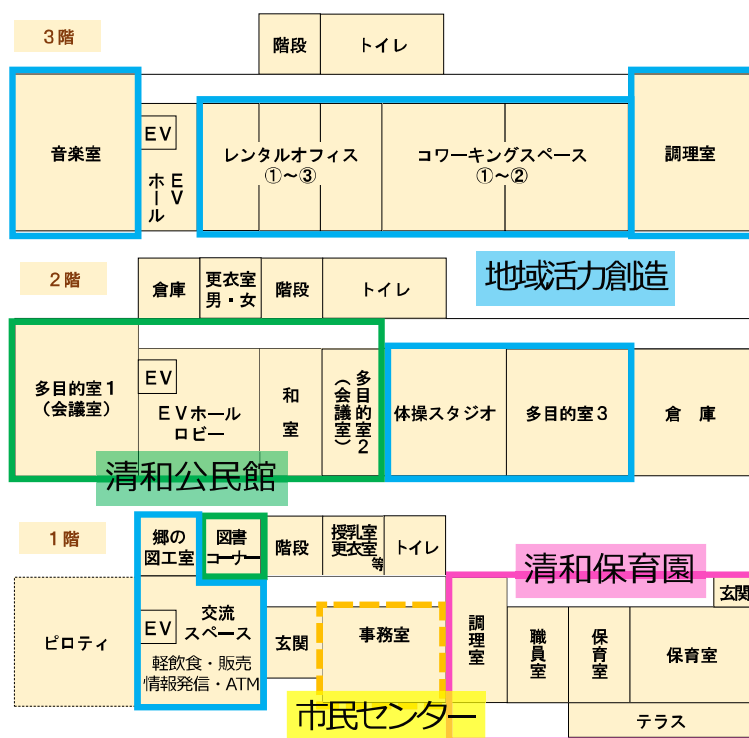
市民センター (1階)

- 窓口は1階事務室配置

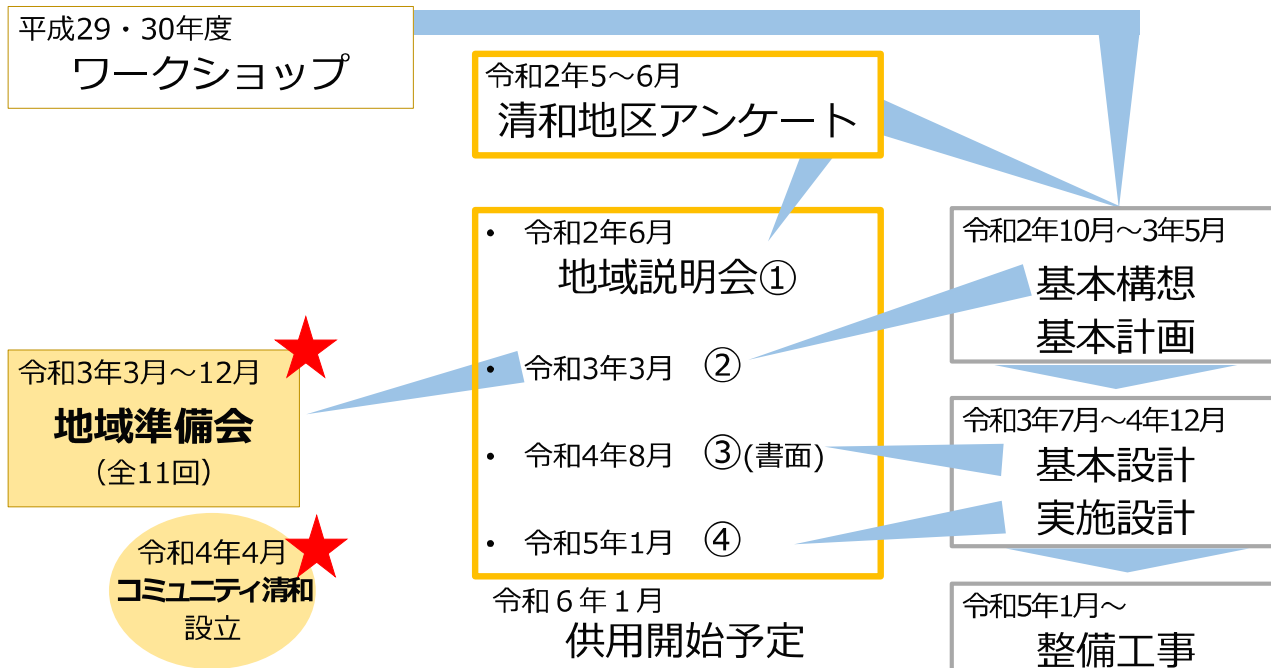
地域活力創造 (1・2・3階)

- オフィススペース、音楽室、調理室、体操スタジオ、交流スペース

全体 ●エレベーターの設置



1 （仮称）清和地区拠点施設整備に関する動きと現状



1 （仮称）清和地区拠点施設整備に関する動きと現状

（2）旧秋元小学校複合整備地域準備会

募集

旧秋元小学校複合整備 地域準備会

●個人 ●団体 ●民間事業者

旧秋元小学校の新しいスタートに向けて準備・運営に市と一緒に取り組んでいただけるメンバーを募集します！

第1回会議 **3月29日**

参加申込 **3月25日**まで

募集時のPR

1 （仮称）清和地区拠点施設整備に関する動きと現状

（2）旧秋元小学校複合整備地域準備会

○ 令和3年3月～12月
（毎月1回）

○ 今後、新複合施設を拠点にした…

（1）取り組むこと

（2）取り組む組織の形

を協議する組織

○ コーディネーターとして
おきなまさひと氏を依頼
合同会社まちびと会社ビジョナリアル共同代表



1 （仮称）清和地区拠点施設整備に関する動きと現状

（2）旧秋元小学校複合整備地域準備会

○ **グループ**：「やりたい」「アイデアがある」人が企画を計画



○ **「運営チーム」**：会議の方向性の協議や、司会などの運営を担う

○ 後半には**「発起人会」**：次のステップへの準備

1 （仮称）清和地区拠点施設整備に関連する動きと現状

（2）旧秋元小学校複合整備地域準備会



全11回
令和3年
3月から12月

36組42名
地域役員、住民有志
NPO、近隣事業者

旧秋元小学校を拠点とした
地域活性化に向けた機能の
具体化



取組と組織の方向性



地域準備会まとめ

「未来へつなげるバトン」

1 （仮称）清和地区拠点施設整備に関連する動きと現状

（2）旧秋元小学校複合整備地域準備会

「未来へつなげるバトン」

6 グループで検討した
22 の企画案

旧秋元小で将来的に目指したい
12 の機能イメージ（右図）

これからの
組織づくり

地域の支え合い 地域の方の「お困りごと」サポート いろいろな地域団体の事務サポート	つながる 地域外からの利用者と地域との コーディネート
学び・育ち・健康 各種のカルチャー教室 放課後こども教室 高齢者の健康増進	地域の振興 清和地区や地域活動のプロモーション 清和のモノや魅力をインターネット発信
地域への呼び込み(観光・体験) 清和体験ウォーク サイクリストの拠点 稲作栽培体験や賞農園	歴史文化振興 観光マップづくり 清和の伝統・文化ボードゲーム製作
ものづくり 清和のものづくりマイスター制度 各種のものづくり教室 郷の図工室	しごと場 レンタルオフィスやコワーキングスペースでの テレワーク、起業など各種セミナー
飲食・憩い カフェスタイルの飲食 キッチンカー・フードトラックの呼び込み	販売 地域産のモノを販売 マルシェ トラック市 レンタルロッカーショップ
移住定住促進 清和版の空き家バンク 移住コンシェルジュ	情報発信地域プロモーション HPとSNSでの情報発信 広報誌の発行

1 (仮称) 清和地区拠点施設整備に関連する動きと現状

(3) コミュニティ清和の発足と動き

会員募集
より

会 員

発足時

24人



2023.4現在

43人

- ・ 地域住民
20代～ベテラン層
- ・ 地域外からも

●こんな取り組みを目指しています●

地域で暮らしを支える公共的な取組
高齢世帯のちょっとしたお困りごとを
「支え合い」でサポートする仕組みづくりなど

地域で行われる各種の事業・企画の連携
やサポート
団体運営の支援や、情報発信・情報共有



清和地区の情報発信・魅力発信

ホームページやSNSによる情報発信など

地域全体の利益につながるような事業
地域活性化のイベント、地域外から清和
に人を呼び込むような取組、清和のいろ
いろな品のオンライン販売

●地域団体のみなさんと●

これらの取り組みをすすめるためには、各種地域団体や協力いただける事業者のみなさまの力がが必要です。清和地区を活性化し、持続可能な地域にしていくパートナーとして、連携・協力いただけますようお願いいたします。



●募集しています●

会 員 (会費年間 3,000 円)

□ コミュニティ清和の各種事業の企画、運営

や、仕組みづくりの検討と一緒に取り組んでいただける方

□ 資金的に応援していただける方

サポーター

・ コミュニティ清和が実施する取組やイベントに協力いただける登録サポーター [仕組みの詳細は、今後検討していきます]



会員は、いずれの関わり方かを選択いただけます。

1 (仮称) 清和地区拠点施設整備に関連する動きと現状

(3) コミュニティ清和の発足と動き

令和5年度
事業計画

▶ コミュニティ清和まつり

▶ 地域への呼び込みや移住・定住促進

- ・ 地区の魅力を発信するアクティビティを試行。また、すでに取り組まれている活動の情報の発信。
- ・ 空き家活用に向けた調査・情報収集や情報発信、活用促進活動。

▶ 地域資源や地域の課題を活かした取組

- ・ 地域内外の人の交流により、地域活性化や地域での活動・仕事づくりに活かしていく取組。
- ・ これからの地域づくりに関わる人の興味・関心を集めるような情報収集を行い、それをマップとして発信する。

▶ 活動の情報発信

- ・ ホームページ、SNS、一般向け「たより」など

▶ 会員有志によるチーム活動

- 農林業チーム □ こどもベースチーム
- 空き家活用チーム □ イベントチーム
- 清和の民話紙芝居チーム
- マルチワークチーム (よろずや)

▶ 地域情報収集・魅力情報発信制度

- ・ 「清和の魅力情報」を収集し、SNSを用いて発信。フォローしている方を「清和魅力発信サポーター」と位置づけ情報の拡散を促す。

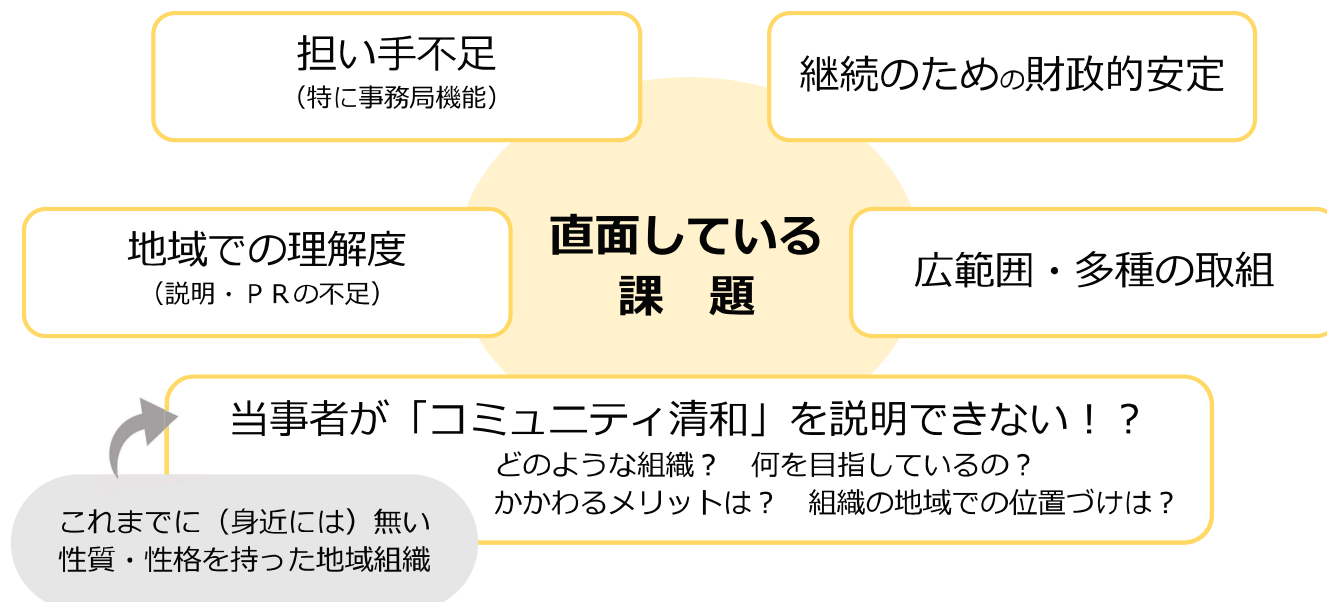
▶ イベントサポーター制度

- ・ 主にコミュニティ清和が実施するイベントを対象に、運営や補助などを担う方を「イベントサポーター」として通年募集・登録する制度を運用。

▶ 地域内外の団体との連携

1 （仮称）清和地区拠点施設整備に関連する動きと現状

（3）コミュニティ清和の発足と動き



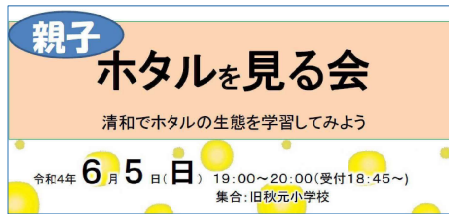
2 大切にしてきた「社会教育の視点」

(1) 学び合い と 話し合い (対話)



2 大切にしてきた「社会教育の視点」

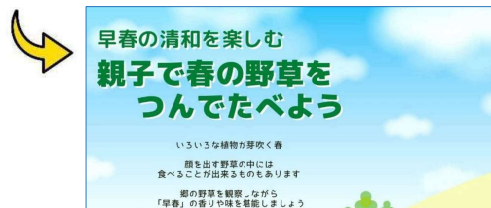
(1) 学び合い と 話し合い (対話)



清和地区限定
親子6組25名



地域外からも…
来場者約500人



地域外から
親子10組27名



空き家活用事例についての学習会
(開宅舎／市原市への視察)



2 大切にしてきた「社会教育の視点」

(1) 学び合い と 話し合い (対話)

- ✓ 学び合い・話し合いの場を意識的に作る
- ✓ 話し合いの使い分け (議論のため? 行動のため?)
- ✓ 経過と結果の見える化・共有
- ✓ 使える手段はなんでも使う (オンライン、LINE…)

話し合い(対話)の積み重ね = 組織にとっての学び

2 大切にしてきた「社会教育の視点」

(2) 目的は何か？の問い

会員を誘うにも
説明できない
・ 意義？
・ メリット？



家族にも
説明できない



イベント屋？



意義や目的
自分(たち)に
定着して
いない。

令和4年度「地域組織支援連絡調整会議」での議論を中心に…

方向性の再確認

目指す事業の
構造化

「目的」や「方向性」を自分のことばに“翻訳”
➢ 共有できることば探し
➢ 「コンセプト」のようなもの



実現したい
こと

良好な地域社会の維持及び形成・持続可能で活力ある住みよい地域と暮らし
言い換えると…(地域力の向上)

必要なこと

言い換えると…

地域内の親睦・連携
パイプとなる人と循環

自主的な共同事業
住み関わる人の手による取組

地域資源の活用
ヒト・モノ・環境の活用

地域全体の「富」
物質的な富・心の富

では…？

C清和が…
目指す組織像
果たしたい役割

言い換えると…

地域に愛され
信頼される
実績

地域づくり
の核
推進力

地域連携
のハブ
連携をつくる

持続的な
組織・活動
信頼

スピーディ
な動き
柔軟性

拠点施設運営
への参画

取組/事業の
視点・目的

今年度なら…

団体の
認知向上
HP、SNS
+ α

地域内
交流
地域向け
イベント

地域内外
の交流
広域対象の
企画(まつり)

公益的な
事業
学校草刈り
お困りごとサポ

地域全体
の利益
イベントサポ
清和産品販売

団体・個人の
取組支援
パートナー
協定

地域外の清和
ファン増やす
HP、SNS
+ α

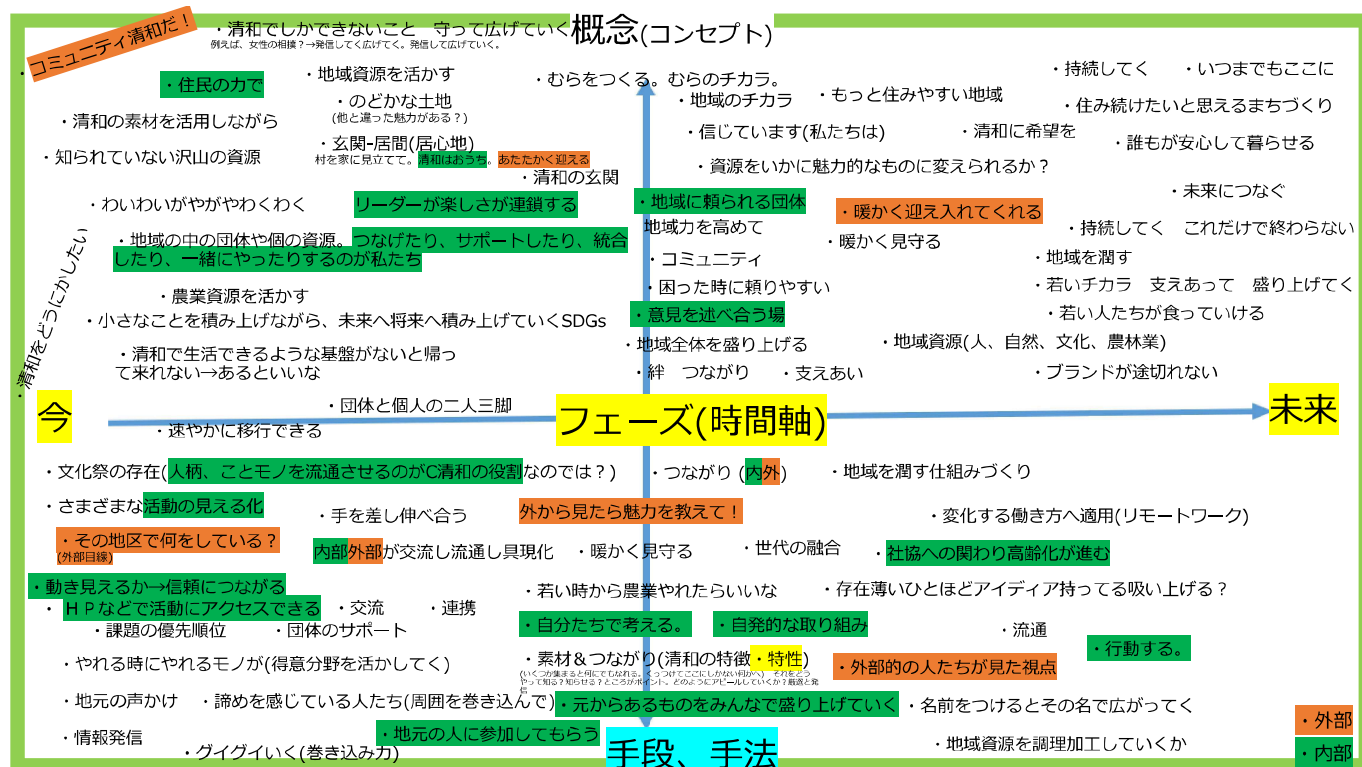
組織基盤の強化

●一定の収益の確保

●担い手の確保・創出

法人化

清和から楽しいことを巻き起こそう！



2 大切にしてきた「社会教育の視点」

(2) 目的は何か? の問い --2023年4月の到達点--

むらをつくる。むらをまもる。いつまでも。

コンセプト & ビジョン

私たちコミュニティ清和は、清和地域に関わる様々な人との交流を深めながら、多世代が安心して暮らすことのできる清和(むら)づくりをお手伝いし、いつまでも住み続けることのできる、魅力ある清和(むら)を目指します。

むらのちからをつかう。つくる。つなぐ。

ミッション

清和(むら)の「ちから」が清和(むら)をつくりまします。私たちコミュニティ清和は、清和(むら)の資源を活かし、地域内外の人の連携や協力関係づくりや地域のつながり・支え合いを支援する取組、地域活性化の取組などにより、新たな「ちから」をつくり、つなげていくことで、多世代が安心して暮らし続けられる清和(むら)づくりに貢献します。

2 大切にしてきた「社会教育の視点」

(2) 目的は何か？の問い

- ✓ **立ち戻る場所**（スタート時の目的）の確認
- ✓ **常に**問い続ける。**その時のことば**にしていく。
- ✓ **自分（たち）のことば**にしていく。

自分たちの〇〇 = 当事者意識

2 大切にしてきた「社会教育の視点」

(3) 自治体（職員）の役割〔組織・職員個人〕

- ✓ 自治体（職員）は「**当事者**」
「支援」だけでなく、まずは「する」
（その上で、「寄り添う」「伴走する」）
- ✓ 職員の役割：「行政」と「地域」の橋渡し
「地域内」と「地域外」
それぞれが、効果的な力を発揮できるように。
- ✓ 職員の視点：**人と暮らしと地域**
携わる「人」とその「暮らし」に寄り添い、「人」「地域」それぞれの魅力や活力を縫り合わせることで、地域存続に向けた新しい流れをつくる。